

婦人関係調査資料 No. 47

# 農家婦人の農外就労に関する調査

— 結果報告書 —

昭和 44 年

労働省婦人少年局

## は し が き

労働省婦人少年局では、従来種々の調査を行い、婦人の意識や生活の実態を把握することに努めてきましたが、今回は、農家婦人の農外就労の問題をとりあげました。近年とくにはげしい変動をみせている農村社会において、最近農家婦人の農外就労が著しく増加し、婦人自身はじめ家庭の生活にその影響は少なくないと思われますので、その実態と、あわせて婦人の意識を明らかにする意図をもってこの調査を試みたものです。農村婦人問題に関心をもたれる方々のお役に立てば幸いです。

この調査の実施にあたっては、農林省農林経済局、市町村役場の御協力をいただきました。また調査地点の抽出については、統計数理研究所（国立）西平重喜氏の御協力を得、調査内容については、関係各方面の先生方の御助言をいただきました。これらの方々をはじめ調査に応じて下さった調査対象者の皆様に厚くお礼申し上げます。

1969年2月

労働省婦人少年局

## 目 次

はしがき

|         |   |
|---------|---|
| 調査の概要   | 1 |
| 調査結果の要約 | 3 |
| 調査結果    | 6 |

### I 調査世帯および対象者の概況

|                 |   |
|-----------------|---|
| 1 家族構成          | 6 |
| 2 兼業種別          | 6 |
| 3 経営耕地面積        | 8 |
| 4 家族員の農業従事の程度   | 9 |
| 5 家族員の農外就労従事の程度 | 9 |
| 6 対象者の年齢        | 9 |
| 7 対象者の農作業従事日数   | 9 |

### II 農外就労の状態

|               |    |
|---------------|----|
| 1 対象者の農外就労の有無 | 11 |
| 2 農外就労の形態     | 11 |
| 3 就労形態別の状況    | 14 |
| (1) 恒常的勤務     | 14 |
| (2) 臨時的勤務     | 15 |
| (3) 出稼        | 18 |
| (4) 農業賃労働     | 19 |
| (5) 内職        | 19 |
| (6) 自営業       | 22 |

### III 農外就労と家庭生活

|                  |    |
|------------------|----|
| 1 主婦の収入の管理者      | 22 |
| 2 収入の使途          | 24 |
| 3 家事・育児に及ぼす影響    | 24 |
| (1) 家事・育児への影響の有無 | 24 |
| (2) 影響の内容        | 25 |

|                   |    |
|-------------------|----|
| 4 家族の態度           | 26 |
| 5 部落つきあいによる影響     | 27 |
| (1) 影響の有無         | 27 |
| (2) 影響の内容         | 27 |
| IV 農外就労と農業経営      | 27 |
| 1 労働生活における農外就労の比重 | 27 |
| 2 農業経営への影響        | 28 |
| 3 農業継続希望の有無       | 29 |
| V 農外就労者の意識        | 30 |
| 1 農外就労をしてよかったこと   | 30 |
| 2 仕事について困ること      | 30 |
| (1) 仕事について困ることの有無 | 30 |
| (2) 困ることの内容       | 30 |
| 3 結婚前の就労経験の有無     | 31 |
| 4 結婚後農外就労をはじめた時期  | 31 |
| 5 農外就労継続希望の有無     | 32 |
| VI 農外非就労者の意識      | 33 |
| 1 農外就労をしない理由      | 33 |
| 2 農外就労の経験         | 34 |
| 3 今後の就労意志の有無      | 34 |
| 4 希望する農外就労形態      | 35 |

## 統計表目次

|                            |    |
|----------------------------|----|
| 第1表 家族人数（地域別，経済地帯別）        | 6  |
| 第2表 家族形態（地域別，経済地帯別）        | 7  |
| 第3表 兼業種別（地域別，経済地帯別）        | 7  |
| 第4表 経営耕地面積（地域別，経済地帯別）      | 8  |
| 第5表 家族員の農作業従事者数（地域別，経済地帯別） | 8  |
| 第6表 家族員の農外就労者数（地域別，経済地帯別）  | 9  |
| 第7表 調査対象者の年令（地域別）          | 10 |

|                                   |    |
|-----------------------------------|----|
| 第8表 対象者の農作業従事日数（地域別，農外就労の有無別）     | 10 |
| 第9表 農外就労の有無（地域別，経済地帯別，年令別）        | 12 |
| 第10表 農外就労の形態（地域別，年令別）             | 14 |
| 第11表 恒常的勤務者の勤務先事業場規模（経済地帯別）       | 15 |
| 第12表 恒常的勤務者の自家農業のための欠勤日数          | 15 |
| 第13表 恒常的勤務者の一日の賃金額                | 16 |
| 第14表 恒常的勤務者の年間収入金額                | 16 |
| 第15表 臨時的勤務者の勤務先事業場業種（経済地帯別）       | 16 |
| 第16表 臨時的勤務者がはじめてその仕事についた時期        | 17 |
| 第17表 臨時的勤務者の年間就労日数（経済地帯別）         | 17 |
| 第18表 臨時的勤務者の1日の賃金額（経済地帯別）         | 18 |
| 第19表 臨時的勤務者の年間収入（経済地帯別）           | 19 |
| 第20表 農業賃労働者の年間就労日数及び平均年収          | 19 |
| 第21表 内職従事者の就労時間                   | 20 |
| 第22表 内職従事者の年間内職従事日数（経済地帯別）        | 20 |
| 第23表 内職従事者の年間収入金額（経済地帯別）          | 21 |
| 第24表 内職従事者の材料，製品運搬者（経済地帯別）        | 21 |
| 第25表 主婦の収入の管理者（地域別，就労形態別）         | 22 |
| 第26表 年間農外総収入（地域別，経済地帯別）           | 23 |
| 第27表 収入の使途（経済地帯別，年令別）             | 25 |
| 第28表 家事・育児への影響の有無（就労形態別，年令別）      | 25 |
| 第29表 家事・育児への影響の内容（就労形態別，年令別）      | 26 |
| 第30表 家族の態度（就労形態別）                 | 26 |
| 第31表 部落つきあいへの影響の内容（就労形態別，年令別）     | 27 |
| 第32表 労働生活における農外就労の比重（経済地帯別，就労形態別） | 28 |
| 第33表 農業経営への影響（経済地帯別，就労形態別）        | 29 |
| 第34表 農業継続希望の有無（経済地帯別，就労形態別）       | 29 |
| 第35表 農外就労をしてよかったこと（年令別）           | 30 |
| 第36表 農外就労について困ることの有無（就労形態別）       | 31 |
| 第37表 結婚前の就労経験の有無（経済地帯別，就労形態別，年令別） | 32 |
| 第38表 結婚後農外就労をはじめた時期（経済地帯別）        | 32 |
| 第39表 農外就労継続希望の有無（就労形態別，年令別）       | 33 |
| 第40表 農外就労をしない理由（年令別）              | 33 |
| 第41表 農外就労の経験（年令別）                 | 34 |

## 図 表 目 次

|                             |    |
|-----------------------------|----|
| 第1図 農外就労をする主婦の割合.....       | 11 |
| 第2図 農外就労の形態.....            | 12 |
| 第3図 農外就労者の経済地帯別農外就労の形態..... | 13 |
| 第4図 恒常的勤務者の業種別構成比.....      | 15 |
| 第5図 臨時的勤務者の業種別構成比.....      | 16 |
| 第6図 臨時的勤務者の就労月.....         | 18 |
| 第7図 内職従事者の就労月.....          | 20 |
| 第8図 年令別主婦の収入の管理者.....       | 23 |
| 第9図 収入の使途.....              | 24 |
| 第10図 労働生活における農外就労の比重.....   | 28 |
| 第11図 仕事について困ること.....        | 31 |

## 調 査 の 概 要

1 目的 農家主婦の農外就労について、その実態と家庭生活に及ぼす影響等を明らかにし、あわせて農外就労に関する婦人の意識を把握することを目的とした。

2 調査地域 全国。ただし北海道を除く。

3 調査地点 100 地点

4 調査対象者 兼業農家主婦 2,000 名（但し、回収有効数 1,909 名）

5 抽出方法

(1) 調査地点の選定

次の方法により、全国の市町村のうちから、層別（地域別及び経済地帯別）に、100 地点（市町村）を抽出した。

まず、全国都道府県を7地域（東北、関東、中部、近畿、中国、四国、九州）に分け、地域内の兼業農家数に比例して、各地域にサンプル数（総数 2,000）を割当て、1 地点のサンプルを20として、地域別の地点数を割出した。

次に、各地域内の市町村を経済地帯別（都市近郊、平地農村、農山村、山村）の4グループにふりわけ、各市町村の兼業農家数に比例する確率を与えて、4 グループを通して等間隔サンプリングをし、調査地点となる市町村をきめた。

(2) 調査対象者の抽出

調査地点の各市町村が保管する1965年中間農業センサス農家調査票（都道府県用）から、下記の条件のすべてに該当する婦人を1 地点20名ずつ、等間隔サンプリングによって抽出した。

サンプルの条件

○兼業農家の世帯主の妻

○調査時現在満20才以上60才未満のもの

○自家農業に従事しているもの

抽出された調査対象者の地域別および経済地帯別分布は次のとおりである。なお調査地点一覧表は末尾に掲げた。

調査対象者の地域別分布

|           | 総 数             | 東 北            | 関 東            | 中 部            | 近 畿            | 中 国            | 四 国           | 九 州            |
|-----------|-----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|---------------|----------------|
| 対 象 者 数   | 2,000人          | 280            | 300            | 540            | 200            | 220            | 140           | 320            |
| 回 収 有 効 数 | 1,909<br>(100%) | 272<br>(14.2%) | 281<br>(14.7%) | 528<br>(27.7%) | 191<br>(10.0%) | 211<br>(11.0%) | 132<br>(6.9%) | 296<br>(15.5%) |

(注) 地域別県名

- 東北……青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島  
 ○関東……茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・神奈川  
 ○中部……新潟・富山・石川・福井・山梨・長野・岐阜・静岡・愛知・三重  
 ○近畿……滋賀・京都・兵庫・奈良・和歌山  
 ○中国……鳥取・島根・岡山・広島・山口  
 ○四国……徳島・香川・愛媛・高知  
 ○九州……福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島

調査対象者の経済地帯別分布

|           | 総 数              | 都市近郊           | 平地農村           | 農山村            | 山村             |
|-----------|------------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 対 象 者 数   | 2,000人           | 300            | 760            | 680            | 260            |
| 回 収 有 効 数 | 1,909人<br>(100%) | 281<br>(14.7%) | 733<br>(38.5%) | 648<br>(33.9%) | 247<br>(12.9%) |

(注) 経済地帯の区分は昭和37年「農林統計に用いる地域区分」(農林省)による。同区分による経済地帯の性格は下記のとおりである。

- 都市近郊……都市近郊で農工商工業に侵食され、分解と兼業化が進行しつつある地域。  
 平地農村……専業農業率が高く、生産力も高い地域。農外産業が未発達で地方的労働市場が狭い。  
 農山村……農業を主とするが、生産力が低く副業又は林業の依存度が高い地域。  
 山村……住民の過半が林業またはこれら付属事業に依存し、農業を副とする地域。

6 調査時期 昭和43年7月

7 調査方法 面接法(各府県婦人少年室職員及び婦人少年室長の委嘱する調査員による)

8 調査項目 下記に関する実態と意識

農家の概況、農外就労の状態、農外就労の家庭生活・農業経営に及ぼす影響、農外就労に関する意識、その他

9 調査機関 労働省婦人少年局

## 調査結果の要約

### 1 調査世帯

調査世帯の平均家族員数は5.3人、うち農業に従事するもの2.5人、農外就労をするもの2人である。第1種兼業43%、第2種兼業49%で、経営耕地面積50a未満の狭小規模農家が約4割を占める。

### 2 調査対象者

対象者の年齢は40才代が39%で最も多く、50才代33%、30才代24%、20才代3%である。対象者の約6割が年間150日以上農作業に従事しており、平均日数は162日である。

### 3 農外就労の有無

対象者のうち過去1年間に自分の家の農業以外に収入のある仕事をした者は47%である。第1種兼業では43%、第2種兼業では58%の就労がみられる。地域別には、近畿、中国、四国の順にその比率が高い。

### 4 農外就労の形態

就労の形態は臨時的勤務が農外就労者全体の36%で最も多く、次いで内職(20%)、恒常的勤務(19%)、自営業(17%)、農業賃労働(16%)が主なもので、そのほかに出稼が少数みられる。

経済地帯別にみると、どの地帯でも臨時的勤務が最も大きな割合を占めるが、それに次ぐのは、都市近郊と平地農村では恒常的勤務、農山村では内職、山村では農業賃労働という特徴がみられる。

### 5 農外就労の形態別状況

<恒常的勤務> 恒常的勤務者の6割は製造業の事業所に働き、規模30人未満の事業所に雇用されるものが半数である。従事する職種は単純作業が5割で最も多い。1日の勤務時間(拘束)は平均8時間48分、休日は週1回制が約8割である。自家農業のために勤めを休むことのある者が7割、休む日数の平均は年間88日である。賃金は日給制が56%で最も多く、年間の手取収入の平均は約19万円である。昭和39年以後にその仕事についた者が6割、41年以後が4割を占める。

<臨時的勤務> 臨時的勤務者は製造業と建設業の事業所に働く者が多く、また規模30人未満の事業所に雇用される者が6割をこえる。大部分が単純作業に従事している。1日の就労時間(拘束)は平均8時間42分、年間就労日数は83日である。時期としては、12月から3月にかけて働くものが多い。

賃金は日給がほとんどで、年間収入の平均は6万1千円である。39年以後にその仕事についたものが8割、6割弱は41年以後である。

＜農業賃労働＞ 農業賃労働はその8割が田仕事で、就労日数は年間23日である。主に田植時期と稲刈りに働いている。年間収入の平均は1万8千円である。そこで働きはじめた時期は約半数が39年以後であるが、34年以前からのものも3分の1ある。

＜内職＞ 従事している内職の職種は、繊維製品加工が最も多く(65%)、ついで木竹紙・印刷製品加工(9%)、雑貨加工(8%)となっており、年間収入は平均約5万2千円となっている。これら内職は12月から3月にかけての農閑期に最も多く行なわれているが、これを平均すると年間約130日、1日約5時間行なわれている。その内職をはじめた時期は39年以後が6割、その過半数は41年以後である。

＜自営業＞ 自営業は卸売、小売業が5割で最も多く次いで製造業が多い。主婦自身が主になって家業を営むものが過半数である。この家業に働く日数は年間247日である。その仕事をはじめた時期は34年以前が6割、39年以後にはじめたものは2割である。

## 6 農外就労と家庭生活

＜主婦の収入の管理者および使途＞ 主婦が農外就労で得た収入の管理は「主婦自身とする」というものが72%を占める。収入の使途としては、「生活費」をあげたものが最も多く(73%)、次いで「子供の教育」(48%)、「自分のこづかい」(39%)、「衣類や家具などまとまったものの購入」(37%)等のほか多様な使途があげられている。

＜家事・育児に及ぼす影響＞ 農外就労をするために家事・育児にさしつかえが「ある」という者は44%、「ない」もの56%である。さしつかえることとして多くあげられたのは、「子供の世話・勉強相手」、「炊事」、「そうじ」、「洗たく」の順である。

## 7 農外就労と農業経営

＜農業経営への影響＞ 主婦の農外就労が農作物のできに影響することが「ある」とする者は33%、「ない」もの66%である。「ある」もののうち大部分は多少影響するという程度で、大きな影響があるという者は少ない。

## 8 農外就労者の意識

＜農外就労をしてよかったこと＞ 対象者の約9割が「農外就労をしてよかったと思うことがある」といっている。よかったことの内容は「生活にはりあいができる」という者が最も多く、次いで「気ばらしになる」、「いろいろのことがおぼえられる」等が主なものである。「生活にはりあいができる」というものは若い層に多い。

＜仕事について困ること＞ 農業外の仕事に関して、とくに困ることや不満なことがある者は約3割である。困ること、不満なことの内容は「賃金が安い」という者がもっとも多い。

＜農外就労継続希望の有無＞ 農外就労者の8割が今後も「農外就労をつづける」とことを希望している。つづけたい者の割合は内職、自営業、恒常的勤務の順に多い。

## 9 農外非就労者の意識

＜農外就労の経験＞ 現在農外就労をしていない者も、その約半数は以前に何らかの農業以外の就労をした経験をもっている。結婚前に経験をもったものは現在就労していないものの4割弱、結婚後にもつものは2割弱である。

＜今後の就労意志の有無＞ 今後就労するつもりかどうかについては、「しないつもり」といった者が7割、「したい」が1割弱、「したいができない」が2割弱ある。「したい」または「したいができない」と一応就労意志のあることを示したものは、若い年代ほど多い。これらの者の希望する仕事は、内職がもっとも多く、次は臨時的勤務である。

## 調 査 結 果

### I 調査世帯および対象者の概況

#### 1 家族構成

対象者の家族人数は5人が27%で最も多く、次いで6人(22%)、4人(19%)の順である。平均人数は5.3人、地域別では東北(5.8人)、関東(5.6人)にやや多く、近畿、中国、四国ではほぼ5人で少ない。

第1表 家族人数

|         |         |  | 総 数   |     | 2人  | 3人  | 4人   | 5人   | 6人   | 7人   | 8人   | 9人  | 10人 | 10人以上 | 平均人数 |
|---------|---------|--|-------|-----|-----|-----|------|------|------|------|------|-----|-----|-------|------|
|         |         |  | 実数    | %   |     |     |      |      |      |      |      |     |     |       |      |
| 計       |         |  | 1,909 | 100 | 3.4 | 7.9 | 19.1 | 26.9 | 21.5 | 12.1 | 6.1  | 2.1 | 0.7 | 0.2   | 5.3人 |
| 地 域     | 東 北     |  | 272   | 100 | 1.1 | 6.6 | 16.5 | 24.1 | 16.5 | 17.3 | 11.4 | 4.0 | 1.8 | 0.7   | 5.8  |
|         | 関 東     |  | 281   | 100 | 1.8 | 6.0 | 17.4 | 24.1 | 21.4 | 17.8 | 6.8  | 3.2 | 1.1 | 0.4   | 5.6  |
|         | 中 部     |  | 526   | 100 | 2.5 | 7.8 | 19.0 | 27.0 | 26.0 | 10.3 | 5.3  | 1.5 | 0.6 | —     | 5.3  |
|         | 近 畿     |  | 191   | 100 | 4.7 | 8.9 | 25.1 | 22.0 | 27.3 | 6.8  | 4.2  | 1.0 | —   | —     | 5.0  |
|         | 中 国     |  | 211   | 100 | 7.1 | 9.5 | 21.8 | 29.9 | 18.0 | 10.4 | 1.4  | 1.4 | 0.5 | —     | 4.9  |
|         | 四 国     |  | 132   | 100 | 4.5 | 9.8 | 22.0 | 35.7 | 12.9 | 8.3  | 4.5  | 2.3 | —   | —     | 5.0  |
|         | 九 州     |  | 296   | 100 | 4.7 | 8.4 | 16.2 | 28.8 | 20.6 | 11.5 | 7.1  | 1.7 | 0.7 | 0.3   | 5.3  |
| 経 済 地 帯 | 都 市 近 郊 |  | 281   | 100 | 2.8 | 7.1 | 22.1 | 24.5 | 19.2 | 13.9 | 4.3  | 5.0 | 1.1 | —     | 5.4  |
|         | 平 地 農 村 |  | 733   | 100 | 1.4 | 7.2 | 20.2 | 26.2 | 23.2 | 13.0 | 7.4  | 0.5 | 0.8 | 0.1   | 5.4  |
|         | 農 山 村   |  | 648   | 100 | 5.1 | 8.5 | 17.0 | 28.0 | 21.3 | 11.0 | 5.9  | 2.6 | 0.3 | 0.3   | 5.3  |
|         | 山 村     |  | 247   | 100 | 5.7 | 9.3 | 18.2 | 28.0 | 19.4 | 10.5 | 4.9  | 2.4 | 1.2 | 0.4   | 5.2  |

家族形態は、夫婦だけか夫婦と子供のいわゆる核家族が49%、複合家族が51%である。核家族の割合が多い地域は九州(54%)と四国(52%)、もっとも少ない地域は東北(42%)である。経済地帯別にみると農山村と山村では核家族が複合家族よりわずかに多いのに対し、都市近郊と平地農村ではその逆で、複合家族の方がやや多い。(第2表)

#### 2 兼業種別

兼業農家のみを対象として抽出したが、第1種兼業(農業を主とする兼業)が43%、第2種兼業(農業を従とする兼業)が49%で、ほかに専業が7%あった。抽出に用いた1965年中間農業センサス農家調査票作成以後における農家事情の変化によるものと思われる。

地域別にみると、第1種兼業の割合がもっとも多いのは東北(48%)、第2種兼業の多いのは近畿

第2表 家族形態

|         |         |  | 総 数   |      | 核 家 族 | 複 合 家 族 |
|---------|---------|--|-------|------|-------|---------|
|         |         |  | 実 数   | %    |       |         |
| 計       |         |  | 1,909 | 100% | 48.9  | 51.1    |
| 地 域     | 東 北     |  | 272   | 100  | 42.3  | 57.7    |
|         | 関 東     |  | 281   | 100  | 47.7  | 52.3    |
|         | 中 部     |  | 526   | 100  | 44.9  | 55.1    |
|         | 近 畿     |  | 191   | 100  | 46.6  | 53.4    |
|         | 中 国     |  | 211   | 100  | 48.3  | 51.7    |
|         | 四 国     |  | 132   | 100  | 52.3  | 47.7    |
|         | 九 州     |  | 296   | 100  | 63.9  | 36.1    |
| 経 済 地 帯 | 都 市 近 郊 |  | 281   | 100  | 45.9  | 54.1    |
|         | 平 地 農 村 |  | 733   | 100  | 46.2  | 53.8    |
|         | 農 山 村   |  | 648   | 100  | 52.3  | 47.7    |
|         | 山 村     |  | 247   | 100  | 51.4  | 48.6    |

第3表 兼業種別

|         |         |  | 総 数   |      | 兼 業  |      |      | 専 業  | 不 明 |
|---------|---------|--|-------|------|------|------|------|------|-----|
|         |         |  | 実 数   | %    | 小 計  | 第1種  | 第2種  |      |     |
| 計       |         |  | 1,909 | 100% | 92.1 | 43.2 | 48.9 | 7.4  | 0.5 |
| 地 域     | 東 北     |  | 272   | 100  | 89.3 | 48.1 | 41.2 | 10.7 | —   |
|         | 関 東     |  | 281   | 100  | 87.5 | 44.4 | 43.1 | 12.5 | —   |
|         | 中 部     |  | 526   | 100  | 95.6 | 46.6 | 49.0 | 4.4  | —   |
|         | 近 畿     |  | 191   | 100  | 96.9 | 24.6 | 72.3 | 3.1  | —   |
|         | 中 国     |  | 211   | 100  | 90.0 | 36.5 | 53.5 | 5.7  | 4.3 |
|         | 四 国     |  | 132   | 100  | 92.4 | 60.6 | 31.8 | 7.6  | —   |
|         | 九 州     |  | 296   | 100  | 90.9 | 40.2 | 50.7 | 8.8  | 0.3 |
| 経 済 地 帯 | 都 市 近 郊 |  | 281   | 100  | 93.6 | 40.6 | 53.0 | 6.4  | —   |
|         | 平 地 農 村 |  | 733   | 100  | 90.6 | 42.4 | 48.2 | 8.2  | 1.2 |
|         | 農 山 村   |  | 648   | 100  | 93.6 | 45.5 | 48.1 | 6.2  | 0.2 |
|         | 山 村     |  | 247   | 100  | 90.7 | 42.1 | 48.6 | 9.3  | —   |

(72%)、中国(54%)の順である。

経済地帯別には都市近郊に第2種兼業が53%でやや多いほかは、ほとんど差はみられない。

(注) 兼業農家とは世帯員の中に兼業従事者のいる農家のことで、兼業従事者とは、年間90日以上よそに雇われた者および、1種類の自営業で2万円以上の売り上げのあった自家農業以外の自営業に従事したものをいう。



第4表 経営耕地面積

|         |         |     | 総 数   |      | 50a未満 | 50a以上<br>~100a | 100<br>~150a | 150<br>~200a | 200<br>~250a | 250<br>~300a | 300a<br>以上 |
|---------|---------|-----|-------|------|-------|----------------|--------------|--------------|--------------|--------------|------------|
|         |         |     | 実 数   | %    |       |                |              |              |              |              |            |
| 計       |         |     | 1,909 | 100% | 38.8  | 33.6           | 16.2         | 6.7          | 3.2          | 0.6          | 0.9        |
| 地 域     | 東 北     | 272 | 100   | 31.9 | 26.8  | 21.0           | 9.2          | 7.4          | 1.5          | 2.2          |            |
|         | 関 東     | 281 | 100   | 31.3 | 32.0  | 18.9           | 9.6          | 4.3          | 2.1          | 1.8          |            |
|         | 中 部     | 526 | 100   | 33.7 | 37.5  | 18.4           | 6.3          | 2.7          | 0.4          | 1.0          |            |
|         | 近 畿     | 191 | 100   | 56.6 | 33.5  | 5.2            | 3.1          | 1.6          | —            | —            |            |
|         | 中 国     | 211 | 100   | 49.3 | 30.8  | 13.7           | 3.8          | 2.4          | —            | —            |            |
|         | 四 国     | 132 | 100   | 39.4 | 38.6  | 15.9           | 3.8          | 2.3          | —            | —            |            |
|         | 九 州     | 296 | 100   | 42.2 | 33.8  | 14.5           | 7.8          | 1.4          | —            | 0.3          |            |
|         | 都 市 近 郊 | 281 | 100   | 45.9 | 34.5  | 14.2           | 3.6          | 1.1          | 0.7          | —            |            |
|         | 平 地 農 村 | 733 | 100   | 39.1 | 30.7  | 16.2           | 8.0          | 4.2          | 1.0          | 0.8          |            |
| 経 済 地 帯 | 農 山 村   | 648 | 100   | 36.9 | 37.1  | 15.9           | 5.6          | 3.1          | 0.5          | 0.9          |            |
|         | 山 村     | 247 | 100   | 37.3 | 31.6  | 19.4           | 8.9          | 2.8          | —            | —            |            |

第5表 家族員の農作業従事者数

|         |         |     | 総 数   |      | 1人   | 2人   | 3人   | 4人   | 5人以上 | 不明  | 平均人数 |
|---------|---------|-----|-------|------|------|------|------|------|------|-----|------|
|         |         |     | 実 数   | %    |      |      |      |      |      |     |      |
| 計       |         |     | 1,909 | 100% | 15.3 | 45.1 | 22.4 | 13.2 | 3.7  | 0.3 | 2.5人 |
| 地 域     | 東 北     | 272 | 100   | 15.1 | 45.1 | 20.6 | 15.8 | 2.2  | 1.1  | 2.4 |      |
|         | 関 東     | 281 | 100   | 18.9 | 34.2 | 24.6 | 15.7 | 6.0  | 0.7  | 2.6 |      |
|         | 中 部     | 526 | 100   | 9.1  | 45.5 | 27.9 | 16.9 | 0.6  | —    | 2.7 |      |
|         | 近 畿     | 191 | 100   | 12.6 | 51.4 | 20.9 | 12.0 | 3.1  | —    | 2.4 |      |
|         | 中 国     | 211 | 100   | 19.4 | 50.8 | 16.6 | 10.4 | 3.3  | —    | 2.3 |      |
|         | 四 国     | 132 | 100   | 11.4 | 54.5 | 22.0 | 9.8  | 2.3  | —    | 2.4 |      |
|         | 九 州     | 296 | 100   | 23.6 | 51.7 | 17.6 | 6.1  | 0.7  | 0.3  | 2.0 |      |
|         | 都 市 近 郊 | 281 | 100   | 10.3 | 47.4 | 22.4 | 13.5 | 6.4  | —    | 2.6 |      |
|         | 平 地 農 村 | 733 | 100   | 17.6 | 42.0 | 22.4 | 13.8 | 3.5  | 0.7  | 2.4 |      |
| 経 済 地 帯 | 農 山 村   | 648 | 100   | 14.7 | 47.8 | 22.5 | 11.7 | 3.1  | 0.2  | 2.4 |      |
|         | 山 村     | 247 | 100   | 15.8 | 44.1 | 22.3 | 15.0 | 2.8  | —    | 2.5 |      |

## 3 経営耕地面積

対象農家の経営耕地面積は100a未満が72%を占めており、その中でも50a未満が39%で、全体に狭少な経営規模の農家が多い。100a以上は28%、200a以上は5%である。

地域別にみると、概して近畿以西では50a未満が多く、東北と関東では100a以上が比較的多い。

経済地帯別では、都市近郊に50a未満の狭小農家が46%と多くみられる。(第4表)

## 4 家族員の農業従事者の程度

過去1年間に自家の農業に従事した家族の人数は、平均2.5人である。

地域別には中部(2.7人)、関東(2.6人)が他地域よりやや多く、九州が2人で少ない。

経済地帯別には大差なく、都市近郊が2.6人で僅かに平均を上回る程度である。(第5表)

## 5 家族員の農外就労従事者の程度

過去1年間に農外就労をした家族人数は、1世帯平均2人である。地域別では中部、近畿の2.2人が他地域よりやや多いほかは、ほとんど差がみられない。経済地帯別にも差はない。これを人数別分布でみると、1世帯に2人の農外就労者のある世帯が36%で最も多く、1人の世帯が27%、3人が17%で、4人以上が12%となっている。一方農外就労者の全然いない世帯も8%みられ、東北、関東は11~13%とやや多い。

第6表 家族員の農外就労者数

|         |         |     | 総 数   |      | 0人   | 1人   | 2人   | 3人   | 4人  | 5人以上 | 平均人数 |
|---------|---------|-----|-------|------|------|------|------|------|-----|------|------|
|         |         |     | 実 数   | %    |      |      |      |      |     |      |      |
| 計       |         |     | 1,909 | 100% | 7.8  | 26.8 | 35.9 | 17.2 | 8.7 | 3.6  | 2.0人 |
| 地 域     | 東 北     | 272 | 100   | 11.4 | 30.5 | 31.2 | 16.2 | 6.8  | 4.4 | 1.9  |      |
|         | 関 東     | 281 | 100   | 12.8 | 27.0 | 33.5 | 17.1 | 6.4  | 3.2 | 1.9  |      |
|         | 中 部     | 526 | 100   | 4.9  | 22.8 | 37.5 | 19.4 | 11.2 | 4.2 | 2.2  |      |
|         | 近 畿     | 191 | 100   | 3.1  | 23.6 | 39.3 | 20.4 | 9.4  | 4.2 | 2.2  |      |
|         | 中 国     | 211 | 100   | 6.6  | 28.0 | 39.8 | 14.2 | 10.0 | 1.4 | 2.0  |      |
|         | 四 国     | 132 | 100   | 7.6  | 23.5 | 39.3 | 20.5 | 6.1  | 3.0 | 2.0  |      |
|         | 九 州     | 296 | 100   | 8.8  | 33.1 | 33.1 | 12.8 | 8.8  | 3.4 | 1.9  |      |
|         | 都 市 近 郊 | 281 | 100   | 6.8  | 22.8 | 40.9 | 16.7 | 9.6  | 3.2 | 2.1  |      |
|         | 平 地 農 村 | 733 | 100   | 8.9  | 26.9 | 33.2 | 18.1 | 9.4  | 3.5 | 2.0  |      |
| 経 済 地 帯 | 農 山 村   | 648 | 100   | 6.3  | 28.1 | 38.0 | 15.9 | 8.3  | 3.4 | 2.0  |      |
|         | 山 村     | 247 | 100   | 9.7  | 27.9 | 32.8 | 18.2 | 6.9  | 4.5 | 2.0  |      |

## 6 対象者の年齢

対象農家主婦の年齢は40才代が39%で最も多く、50才代(33%)、30才代(24%)がこれに次ぐ。20才代は3%である。(第7表)

## 7 対象者の農作業従事日数

対象者が自家の農業に従事する日数は年間30日未満(全体の11%)からほとんど毎日働くというもの(2%)まで広く分布している。そのうち150日以上が過半を占め、200日以上45%、250日以上24%

第 7 表 調査対象者の年齢

|     |     |     | 総 数   |      | 20 代 | 30 代 | 40 代 | 50 代 |
|-----|-----|-----|-------|------|------|------|------|------|
|     |     |     | 実 数   | %    |      |      |      |      |
|     |     |     | 1,909 | 100% | 3.0  | 22.4 | 39.2 | 33.4 |
| 地 域 | 東 北 | 272 | 100   | 4.4  | 24.6 | 37.9 | 33.1 |      |
|     | 関 東 | 281 | 100   | 2.8  | 14.9 | 41.7 | 40.6 |      |
|     | 中 部 | 526 | 100   | 2.9  | 25.3 | 38.5 | 33.3 |      |
|     | 近 畿 | 191 | 100   | 2.6  | 32.5 | 36.6 | 28.3 |      |
|     | 中 国 | 211 | 100   | 4.3  | 27.0 | 37.9 | 30.8 |      |
|     | 四 国 | 132 | 100   | 1.5  | 23.5 | 46.2 | 28.8 |      |
|     | 九 州 | 296 | 100   | 2.0  | 25.0 | 38.9 | 34.1 |      |

となっている。平均日数は162日である。

農作業日数の比較的多い地域は関東（190日）と四国（176日）、少ない地域は近畿（121日）東北（132日）である。

農外就労をする者としいない者に分けてみると、前者の農作日数は132日、後者は188日で50日以上之差がみられる。

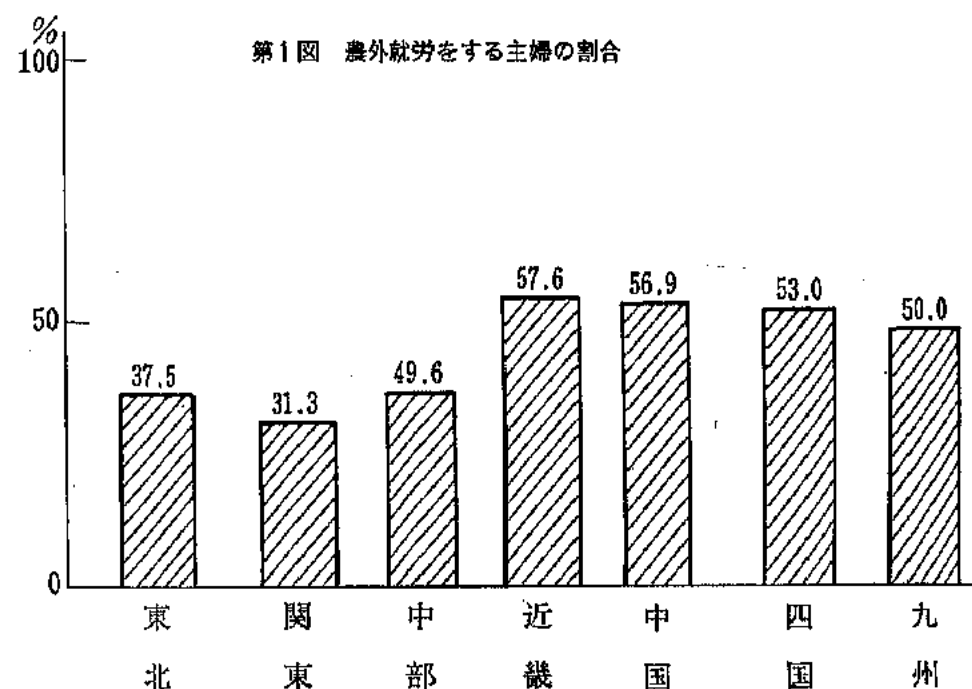
第 8 表 対象者の農作業従事日数

|                 |        |       | 総 数   |      | 30日未満 | 30～59日 | 60～99日 | 100～149日 | 150～199日 | 200～249日 | 250～299日 | 300～349日 | 350日以上 | 平均日数 |
|-----------------|--------|-------|-------|------|-------|--------|--------|----------|----------|----------|----------|----------|--------|------|
|                 |        |       | 実数    | %    |       |        |        |          |          |          |          |          |        |      |
| 計               |        |       | 1,909 | 100  | 10.6  | 9.3    | 8.4    | 12.6     | 14.4     | 20.8     | 11.5     | 10.4     | 2.0    | 162日 |
| 地 域             | 東 北    | 272   | 100   | 18.8 | 8.8   | 11.0   | 14.3   | 15.8     | 19.2     | 6.6      | 3.3      | 2.2      |        | 132  |
|                 | 関 東    | 281   | 100   | 7.8  | 6.8   | 4.3    | 10.0   | 13.6     | 21.3     | 17.1     | 16.4     | 2.8      |        | 190  |
|                 | 中 部    | 526   | 100   | 9.1  | 6.7   | 6.8    | 11.4   | 16.5     | 30.1     | 11.2     | 6.7      | 2.6      |        | 169  |
|                 | 近 畿    | 191   | 100   | 16.8 | 16.6  | 11.5   | 15.2   | 11.0     | 13.1     | 7.9      | 6.3      | 1.6      |        | 121  |
|                 | 中 国    | 211   | 100   | 7.6  | 12.3  | 11.4   | 10.4   | 14.7     | 14.8     | 13.7     | 13.7     | 1.4      |        | 161  |
|                 | 四 国    | 132   | 100   | 4.5  | 6.8   | 12.1   | 13.6   | 15.2     | 16.7     | 10.6     | 18.2     | 2.3      |        | 176  |
|                 | 九 州    | 296   | 100   | 9.1  | 10.8  | 7.1    | 15.2   | 11.8     | 16.3     | 12.5     | 16.2     | 1.0      |        | 166  |
| 農の<br>外有<br>就農無 | 農外就労有り | 899   | 100   | 13.5 | 13.3  | 12.5   | 15.0   | 15.1     | 16.3     | 7.9      | 5.6      | 0.8      |        | 132  |
|                 | 農外就労無し | 1,010 | 100   | 8.0  | 5.6   | 4.9    | 10.5   | 13.8     | 24.5     | 14.8     | 14.7     | 3.2      |        | 188  |

## II 農外就労の状態

## 1 対象者の農外就労の有無

過去1年間に自家農業以外に何らかの収入のある仕事についたものは全対象者の47%である。農外就労者の割合を地域別にみると、関東以東は30～40%で比較的少ないのに対し、中部以西はどの地域も50%以上の就労がみられ、とくに近畿と中国では60%近い。経済地帯別には大差はみられない。兼業種別



では、第1種兼業では43%、第2種兼業では58%の就労がみられる。年齢別には30代と40代に農外就労をするものが多い。（58%と56%）。学令前の子供のあり、なしによっては就労者の割合は変らない。（第9表）

## 2 農外就労の形態

農外就労をした者の就労形態は、臨時的勤務が就労者全体の36%で最も多く、内職の、20%、恒常的勤務の19%がこれにつづく。自営業は17%、農業賃労働は16%である。出稼は1%にみえない。

（2種類以上の仕事に従事した人が、就労者全体の7%ある。したがって以上の各就労形態別の割合の合計は100%をこえる。）（第2図）

（注）本調査では以下の定義のもとに農外就労の形態を分類した。

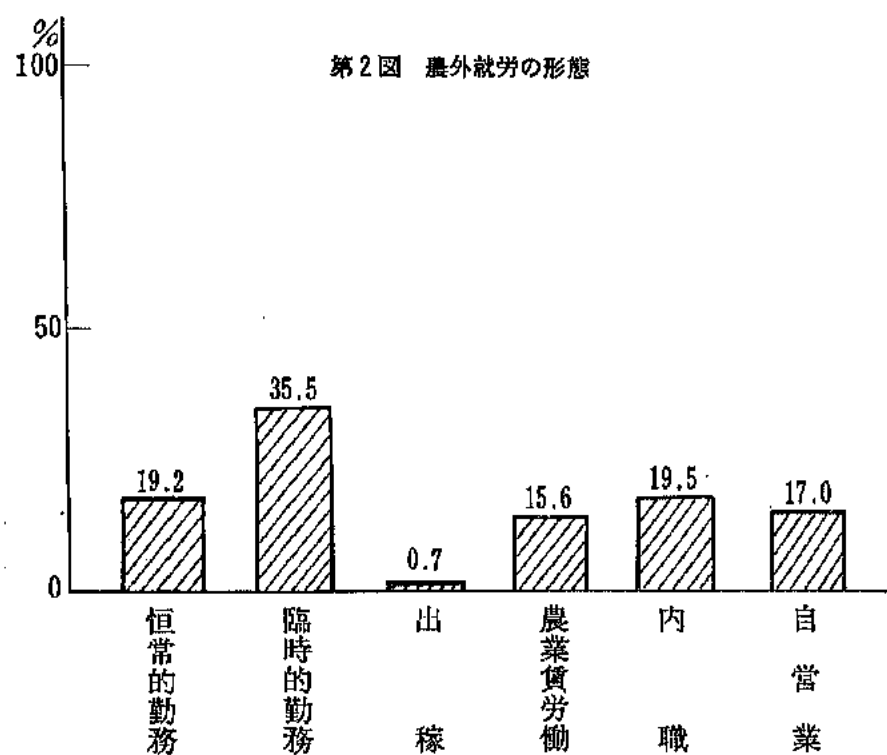
恒常的勤務……期間をきめず、又は1年以上をこえる期間をきめて一定の勤務先に毎日つづけて勤務すること。

但し、賃金をもらって農業手伝いをするものを除く。

臨時的勤務……1年未満の期間を限って雇われた勤務。但し家を離れて出稼したものや賃金をもらって農業手

第 9 表 農外就労の有無

|         |                                               |               | 総 数   |      | し た  | し な い |
|---------|-----------------------------------------------|---------------|-------|------|------|-------|
|         |                                               |               | 実 数   | %    |      |       |
| 計       |                                               |               | 1,909 | 100% | 47.1 | 52.9  |
| 地 域     | 東 北<br>関 東<br>中 部<br>近 畿<br>中 国<br>四 国<br>九 州 | 北 京 部 畿 国 国 州 | 272   | 100  | 37.5 | 62.5  |
|         |                                               |               | 281   | 100  | 31.3 | 68.7  |
|         |                                               |               | 526   | 100  | 49.6 | 50.4  |
|         |                                               |               | 191   | 100  | 57.6 | 42.4  |
|         |                                               |               | 211   | 100  | 56.9 | 43.1  |
|         |                                               |               | 132   | 100  | 53.0 | 47.0  |
|         |                                               |               | 296   | 100  | 50.0 | 50.0  |
| 経 済 地 帯 | 都 市 近 郊<br>平 農 村<br>農 山 村<br>山 村              | 郊 村           | 281   | 100  | 43.4 | 56.6  |
|         |                                               | 村             | 733   | 100  | 46.1 | 53.9  |
|         |                                               | 村             | 648   | 100  | 50.8 | 49.2  |
|         |                                               | 村             | 247   | 100  | 44.5 | 55.5  |
| 年 令     | 20 代<br>30 代<br>40 代<br>50 代                  | 代 代 代 代       | 57    | 100  | 47.4 | 52.6  |
|         |                                               |               | 466   | 100  | 58.4 | 41.6  |
|         |                                               |               | 749   | 100  | 55.5 | 44.5  |
|         |                                               |               | 637   | 100  | 28.9 | 71.1  |



伝いに通ったものは除く。

家を離れて出稼……他所に寝泊りして働きに出ること。

賃金をもらって農業手伝い……賃金をもらって自家農業以外の農業に従事すること。但し他所に寝泊りして働く農業手伝いは除く。

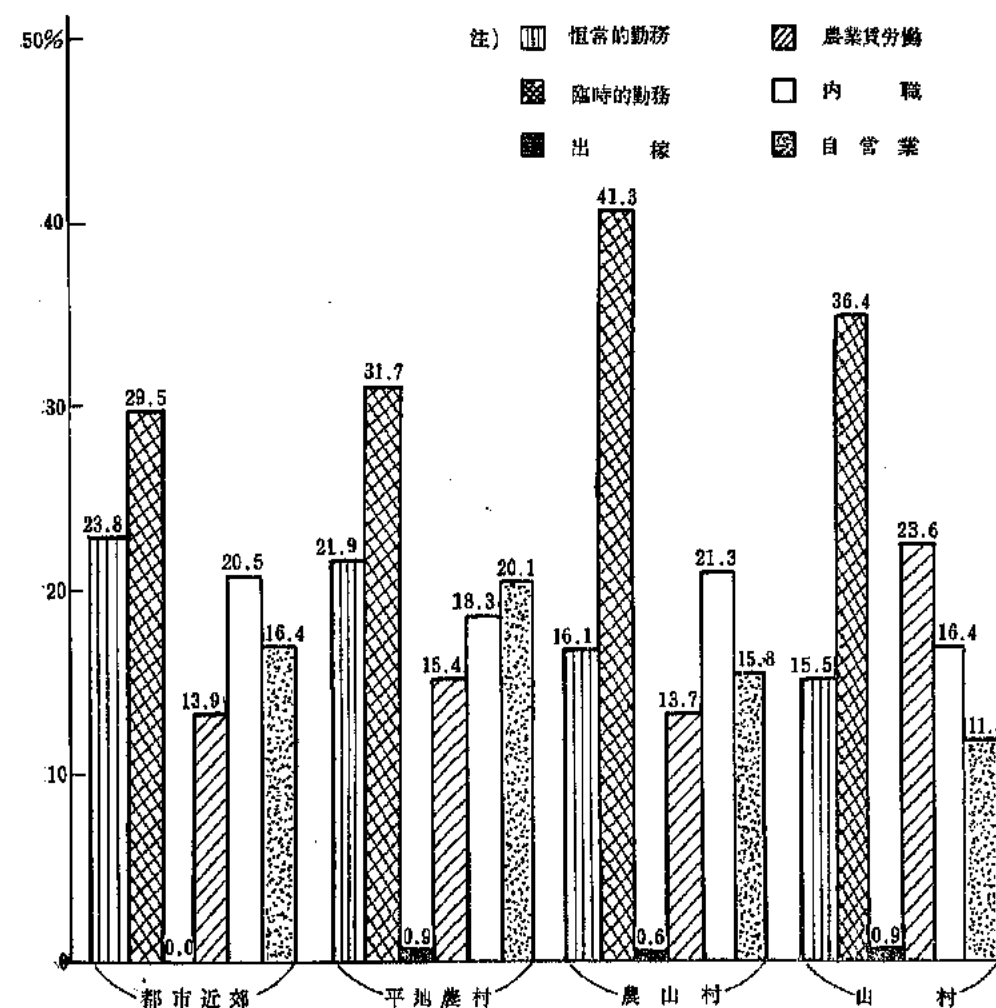
内職……製造業者及び仲介人等から作業に必要な材料等を受けて、自分の家または自分の選んだ場所で製造または加工して、これを委託者におさめ工賃をうけて働くこと。

農業以外の自営業……家の商売や行商（自家栽培の農産物の販売は除く。）

これら農外就労の形態別分布状況は、地域によって多少の相違がある。臨時的勤務は近畿を除くどの地域でも、最も就労者が多いが、それについて、東北では農業賃労働が目立ち、関東では内職と自営業、中部では内職と恒常的勤務に就労する者の割合が多い。近畿では臨時的勤務よりはむしろ恒常的勤務、内職、自営業が多い。中国と四国では、恒常的勤務が臨時的勤務に次ぎ、九州では臨時的勤務が半数を占め、どの地域よりも多い。

経済地帯別にはどの地帯でも臨時的勤務がやはり最も大きな割合を占めるが、それに次ぐのは、都市

第 3 図 農外就労者の経済地帯別農外就労の形態



近郊と平地農村では恒常的勤務、農山村では内職、山村では農業賃労働という特徴がみられる。

年令別には各年令層を通じて臨時的勤務が30～40%を占める。ついで20代では恒常的勤務が多くみられ、30代と40代では内職と恒常的勤務が、50代では自営業、内職、農業賃労働がほぼ同じ割合を占めている。

学令前の子供のあるものは、ないものに比べて恒常的勤務につくものの割合がやや少ないが、その他の就労については差がみられない。

第 10 表 農外就労の形態

|     |      |  | 農外就労者総数 |      | 恒常的勤務 | 臨時的勤務 | 家を離れて出稼 | 賃金をもらって農業手伝い | 内職   | 農業以外の自営業 |
|-----|------|--|---------|------|-------|-------|---------|--------------|------|----------|
|     |      |  | 実数      | %    |       |       |         |              |      |          |
| 計   |      |  | 899     | 100% | 19.2  | 35.5  | 0.7     | 15.6         | 19.5 | 17.0     |
| 地 域 | 東 北  |  | 102     | 100  | 12.7  | 39.2  | 1.0     | 31.4         | 9.8  | 15.7     |
|     | 関 東  |  | 88      | 100  | 11.4  | 27.3  | 3.4     | 15.9         | 25.0 | 22.7     |
|     | 中 部  |  | 261     | 100  | 22.6  | 38.7  | —       | 10.3         | 23.0 | 12.3     |
|     | 近 畿  |  | 110     | 100  | 25.5  | 20.0  | —       | 6.4          | 25.4 | 26.4     |
|     | 中 国  |  | 120     | 100  | 23.3  | 39.2  | —       | 21.7         | 11.7 | 11.7     |
|     | 四 国  |  | 70      | 100  | 22.9  | 25.7  | 2.9     | 17.1         | 22.9 | 20.0     |
| 年 令 | 20 代 |  | 27      | 100  | 33.3  | 40.7  |         | 7.4          | 14.8 | 14.8     |
|     | 30 代 |  | 272     | 100  | 20.2  | 40.8  | 0.7     | 12.9         | 19.9 | 14.3     |
|     | 40 代 |  | 416     | 100  | 19.0  | 33.7  | 0.5     | 16.1         | 19.5 | 17.1     |
|     | 50 代 |  | 184     | 100  | 16.3  | 31.0  | 1.1     | 19.6         | 19.6 | 21.2     |

注) 1人が2つ以上の農外就労をした場合もあるので計は100%をこえる。

### 3 就労形態別の状況

#### (1) 恒常的勤務

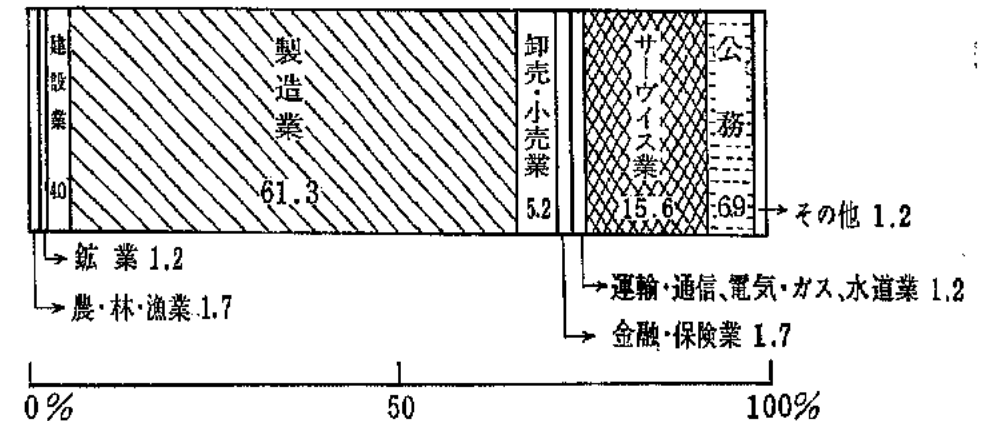
恒常的勤務者（農外就労者の19%）はその6割が製造業に働いており、また従業員30人未満の事業所に雇用されるものが半数である。とくに山村では小規模事業所に働くものが多い。（第4図第11表）

従事する職種は単純作業が51%、技能的作業25%が主なもので、そのほかに事務（9%）、サービス（7%）、販売（5%）がみられる。

その仕事にはじめて就いた時期としては、昭和34年以前は少なく（15%）、35年以後から増加しており、とくに39年以後のものが59%で多いが、さらにその過半数は41年以後の3年間に開始したものである。就職経路は縁故や知人の紹介が7割を占める。

通勤に要する時間は30分未満が大部分（85%）で、徒歩通勤者が46%、使う乗物では自転車27%、バス16%が主なものである。

第 4 図 恒常的勤務者の業種別構成比



第 11 表 恒常的勤務者の勤務先事業規模

|         |         |  |  | 総 数 |      | 30人未満 | 30人～99人 | 100人以上 | 不 明 |
|---------|---------|--|--|-----|------|-------|---------|--------|-----|
|         |         |  |  | 実 数 | %    |       |         |        |     |
| 計       |         |  |  | 173 | 100% | 46.3  | 37.0    | 15.0   | 1.7 |
| 経 済 地 帯 | 都 市 近 郊 |  |  | 29  | 100  | 44.8  | 34.5    | 20.7   | —   |
|         | 平 地 農 村 |  |  | 74  | 100  | 43.3  | 35.1    | 18.9   | 2.7 |
|         | 農 山 村   |  |  | 53  | 100  | 39.6  | 47.2    | 11.3   | 1.9 |
|         | 山 村     |  |  | 17  | 100  | 82.4  | 17.6    | —      | —   |

1日の通常の勤務時間（拘束）は8時間以上のものが94%、平均は8時間48分である。

きめられた休日は週1回のものが大半を占め、週1回をこえるものが7%ある。一方週1回より少ないものが8%、きめられた休日はないというものが4%ある。自分の家の農業のために勤めを休んだことのあるものは73%、その休んだ日数は年間で平均38日となっている。

第 12 表 恒常的勤務者の自家農業のための欠勤日数

| 自家農業のための欠勤者総数 |      | 5日未満 | 5～9日 | 10～19日 | 20～29日 | 30～59日 | 60～89日 | 90日以上 | 平 均 |
|---------------|------|------|------|--------|--------|--------|--------|-------|-----|
| 実 数           | %    |      |      |        |        |        |        |       |     |
| 127           | 100% | 7.1  | 7.9  | 26.0   | 13.3   | 21.3   | 12.6   | 11.8  | 38日 |

賃金形態は56%が日給制、32%が月給制、10%が時給である。1日の賃金は500円から1,000円までのものが大部分で、500円未満と1,000円以上が夫々約1割を占める。年間手取収入の平均は約19万円である。（第13表、第14表）

#### (2) 臨時的勤務

臨時的勤務につくものは農外就労者の36%を占めて最も多い。

第 13 表 恒常的勤務者の 1 日の賃金額 (及び平均金額)

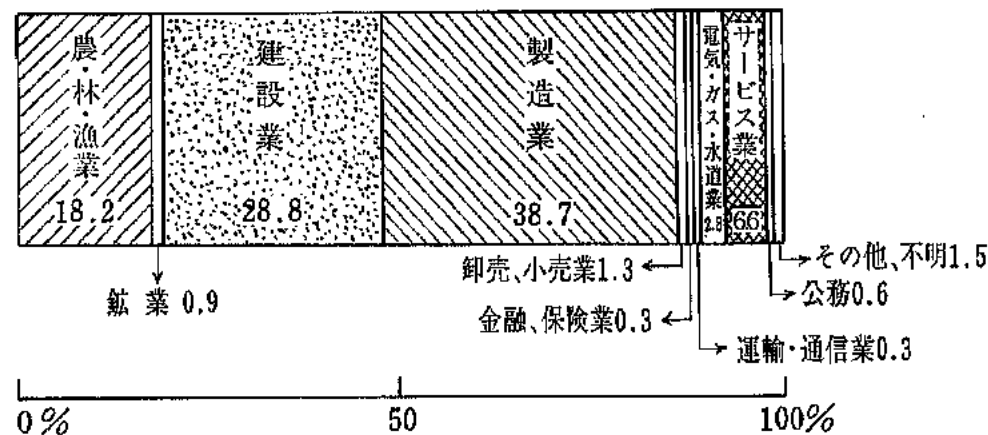
| 総<br>実数 | 数<br>% | 200円未満 | 200～<br>499円 | 500～<br>699円 | 700～<br>999円 | 1,000～<br>1,499円 | 1,500円<br>以上 | 平 均  |
|---------|--------|--------|--------------|--------------|--------------|------------------|--------------|------|
|         |        |        |              |              |              |                  |              |      |
| 173     | 100%   | 1.2    | 12.1         | 38.7         | 37.0         | 8.7              | 2.3          | 724円 |

第 14 表 恒常的勤務者の年間収入金額

| 総<br>実数 | 数<br>% | 1万円<br>未満 | 1万円以上<br>2万円未満 | 2～<br>5万円 | 5～<br>10万円 | 10～<br>20万円 | 20～<br>50万円 | 50万円<br>以上 | 平 均   |
|---------|--------|-----------|----------------|-----------|------------|-------------|-------------|------------|-------|
|         |        |           |                |           |            |             |             |            |       |
| 173     | 100%   | 0.6       | 0.6            | 5.2       | 9.8        | 40.5        | 41.0        | 2.3        | 190千円 |

就労先の業種は製造業約 4 割、建設業約 3 割、農・林・漁業約 2 割がその主なものである。都市近郊と平地農村では製造業、農山村では建設業の割合が特に多い。

第 5 図 臨時的勤務者の業種別構成比



第 15 表 臨時的勤務者の勤務先事業場業種

|      | 総<br>実数 | 数<br>% | 農・林・<br>漁業 | 建設業 | 製造業  | 卸売・<br>小売業 | 金融・<br>保険業 | 不動産<br>業 | 運輸・<br>通信業 | 電気・<br>ガス・<br>水道業 | サービ<br>ス業 | 公務  | その他 | 不明  |
|------|---------|--------|------------|-----|------|------------|------------|----------|------------|-------------------|-----------|-----|-----|-----|
|      |         |        |            |     |      |            |            |          |            |                   |           |     |     |     |
| 計    | 319     | 100%   | 18.2       | 0.9 | 28.8 | 38.7       | 1.3        | 0.3      | —          | 0.3               | 2.8       | 6.6 | 0.6 | 0.9 |
| 都市近郊 | 36      | 100    | 11.1       | —   | 22.2 | 50.0       | —          | —        | —          | 2.8               | 13.9      | —   | —   | —   |
| 平地農村 | 107     | 100    | 14.0       | —   | 18.7 | 49.6       | 3.7        | —        | —          | 1.9               | 10.3      | 0.9 | 0.9 | —   |
| 農山村  | 136     | 100    | 21.3       | 0.7 | 40.6 | 25.7       | —          | 0.7      | —          | 3.7               | 3.7       | 0.7 | 0.7 | 1.6 |
| 山村   | 40      | 100    | 25.0       | 5.0 | 22.5 | 42.5       | —          | —        | —          | 2.5               | —         | —   | 2.5 | —   |

事業場規模は 30 人未満が 63%、30～99 人が 20%、100 人以上は 11% である。

従事する職種は単純作業が 84% で圧倒的に多く、技能的作業は 9%、事務その他は極めて少ない。

臨時的勤務者がその仕事をはじめた時期は、過半数が 39 年以後であり、55% は 41 年以後にはじめている。都市近郊では 41 年以後にはじめたものが 69% に上る。

第 16 表 臨時的勤務者がはじめてその仕事についた時期

|      | 総<br>実数 | 数<br>% | 昭和 34 年<br>以前 | 35～36 年 | 37～38 年 | 39～40 年 | 41 年以後 | 不 明 |
|------|---------|--------|---------------|---------|---------|---------|--------|-----|
|      |         |        |               |         |         |         |        |     |
| 計    | 319     | 100%   | 8.8           | 7.2     | 6.3     | 22.3    | 54.5   | 0.9 |
| 都市近郊 | 36      | 100    | 2.8           | 2.8     | 8.3     | 16.7    | 69.4   | —   |
| 平地農村 | 107     | 100    | 5.6           | 9.3     | 6.5     | 22.4    | 56.2   | —   |
| 農山村  | 136     | 100    | 10.3          | 5.9     | 6.6     | 22.8    | 52.2   | 2.2 |
| 山村   | 40      | 100    | 17.5          | 10.0    | 2.5     | 25.0    | 45.0   | —   |

就職経路は縁故や知人の紹介によるものが 8 割を占める。

通勤に要する時間は 30 分未満が大部分 (82%) で、徒歩通勤が 44%、乗物では自転車を使うものが最も多く 21%、そのほか事業場からの送迎車によるものが 15% ある。とくに山村では事業場の送迎車で通うものが 3 割みられる。

1 日の勤務時間 (拘束) は 8 時間以上がほとんどで、平均 8 時間 42 分である。山村では勤務時間の長いものが多く、平均は 9 時間である。

年間の就労日数は 10 日未満のものから 200 日以上のもので広い分布がみられるが、60 日から 200 日までのものが半数を占め、平均は 83 日である。

経済地帯別にみると、平地農村では 96 日、山村では 92 日と、いずれも他の経済地帯より 15 日前後多い。

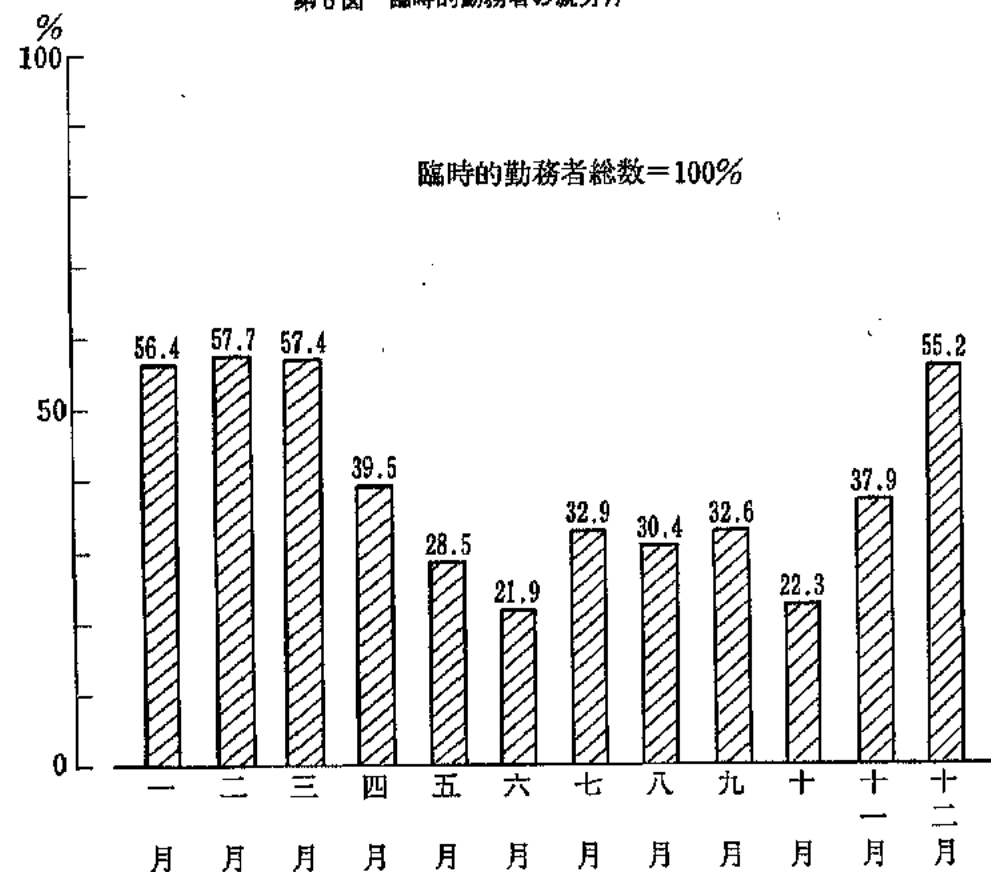
第 17 表 臨時的勤務者の年間就労日数

|      | 総<br>実数 | 数<br>% | 10日<br>未満 | 10～<br>19日 | 20～<br>29日 | 30～<br>59日 | 60～<br>99日 | 100～<br>199日 | 200日<br>以上 | 不 明 | 平均<br>日数 |
|------|---------|--------|-----------|------------|------------|------------|------------|--------------|------------|-----|----------|
|      |         |        |           |            |            |            |            |              |            |     |          |
| 計    | 319     | 100%   | 4.1       | 7.5        | 7.2        | 21.0       | 18.5       | 33.6         | 6.6        | 1.6 | 83日      |
| 都市近郊 | 36      | 100    | —         | 8.3        | 5.6        | 38.9       | 8.3        | 36.1         | 2.8        | —   | 78       |
| 平地農村 | 107     | 100    | 5.6       | 6.5        | 3.7        | 15.0       | 21.5       | 35.6         | 11.2       | 0.9 | 96       |
| 農山村  | 136     | 100    | 4.4       | 9.6        | 8.8        | 22.1       | 19.1       | 28.7         | 4.4        | 2.9 | 71       |
| 山村   | 40      | 100    | 2.5       | 2.5        | 12.5       | 17.5       | 17.5       | 42.5         | 5.0        | —   | 92       |

年間どの月にも臨時的勤務者の 2 割以上の者が働いているが、最も就労の多い月は 12 月から 3 月の 4 ヶ月で、この期間には 5 割以上の者が就労している。反面 6 月と 10 月に就労する者は約 2 割で最低である。(第 6 図)

賃金形態は日給が 88% で大部分を占め、時給は 7% である。1 日の賃金は 500 円から 1,000 円までのものが 85% で、500 円未満は 10%、1,000 円以上は 3% である。(第 18 表)

第6図 臨時的勤務者の就労月



第18表 臨時的勤務者の1日の賃金額

|   |         | 総 数 |      | 200円未満 | 200～499円 | 500～699円 | 700～999円 | 1,000～1,499円 | 1,500円以上 | 不 明 |
|---|---------|-----|------|--------|----------|----------|----------|--------------|----------|-----|
|   |         | 実 数 | %    |        |          |          |          |              |          |     |
| 計 |         | 319 | 100% | 0.3    | 9.4      | 38.9     | 45.8     | 2.8          | 0.3      | 2.5 |
| 経 | 都 市 近 郊 | 36  | 100  | —      | 2.8      | 52.7     | 41.7     | 2.8          | —        | —   |
| 済 | 平 地 農 村 | 107 | 100  | 0.9    | 15.9     | 31.8     | 46.7     | 0.9          | —        | 3.7 |
| 地 | 農 山 村   | 136 | 100  | —      | 5.9      | 44.2     | 41.9     | 4.4          | 0.7      | 2.9 |
| 帯 | 山 村     | 40  | 100  | —      | 10.0     | 27.5     | 60.0     | 2.5          | —        | —   |

年間収入は平均5万1千円を中心として、5,000円未満から20万円までの分布がみられる。経済地帯別にみた年間収入は、平地農村および山村が6万1千円で平均より約1万円高いが、これは阿地帯の就労日数が他地帯より多いためである。(第19表)

## (3) 出稼

過去1年間に稼出したものは農外就労者全体の1%にもみえない。少数ではあるが、これら出稼者の

第19表 臨時的勤務者の年間収入

|   |         | 総 数 |      | 5,000円未満 | 5,000円以上1万円未満 | 1～2万円 | 2～5万円 | 5～10万円 | 10～20万円 | 20～50万円 | 50万円以上 | 不 明 | 平均   |
|---|---------|-----|------|----------|---------------|-------|-------|--------|---------|---------|--------|-----|------|
|   |         | 実数  | %    |          |               |       |       |        |         |         |        |     |      |
| 計 |         | 319 | 100% | 4.4      | 7.2           | 12.9  | 34.7  | 27.3   | 10.7    | 0.9     | —      | 1.9 | 51千円 |
| 経 | 都 市 近 郊 | 36  | 100  | —        | 11.1          | 13.9  | 41.6  | 30.6   | 2.8     | —       | —      | —   | 45   |
| 済 | 平 地 農 村 | 107 | 100  | 8.4      | 8.4           | 4.7   | 32.6  | 28.2   | 17.8    | 1.9     | —      | —   | 61   |
| 地 | 農 山 村   | 136 | 100  | 2.9      | 6.6           | 17.6  | 36.2  | 25.7   | 6.6     | —       | —      | 4.4 | 42   |
| 帯 | 山 村     | 40  | 100  | 2.5      | 2.5           | 17.5  | 30.0  | 32.5   | 12.5    | 2.5     | —      | —   | 61   |

状況についてみると、半数の者が農業出稼者であり、他は建設業、製造業、サービス業に働いている。

はじめてその出稼に出た時期はすべて39年以後であり、とくに41年以後が過半数である。ほとんど縁故就職で、単独でなく知人といっしょに出ており、県内出稼の方が多い。

年間の出稼日数は平均23日である。出稼による年間収入の平均は約2万8千円である。

## (4) 農業賃労働

農業賃労働（農外就労者の16%従事）は、その8割近くが田仕事であり、畑や樹園地で働くものがそれぞれ15%程度ある。就労先の地域は90%が自分の住んでいる市町村内である。

年間に農業賃労働に働く日数は平均23日である。就労の時期は5月と6月にそれぞれ51%のものが働き、次いで10月に27%というように、田植と稲刈りの時期に就労のピークがみられる。

その農業賃労働をはじめた時期は約半数が39年以後であるが、34年以前から働いていたものも3分の1ある。

1日の賃金は700円から1,000円までが、43%、1,000円から1,500円までが26%を占める。年間の収入額の平均は約1万8千円である。

第20表 農業賃労働者の年間就労日数及び平均年収

| 総 数 |     | 10日未満 | 10～19日 | 20～29日 | 30～59日 | 60～99日 | 100～199日 | 200日以上 | 不 明 | 平均日数 | 平均年収 |
|-----|-----|-------|--------|--------|--------|--------|----------|--------|-----|------|------|
|     |     |       |        |        |        |        |          |        |     |      |      |
| 実 数 | %   |       |        |        |        |        |          |        |     |      |      |
| 140 | 100 | 29.4  | 24.3   | 16.4   | 19.3   | 6.4    | 1.4      | 0.7    | 2.1 | 23日  | 18千円 |

## (5) 内職

内職従事者は農外就労者の20%を占め、臨時的勤務について多い。

従事する職種は各種にわたるが、なかでも繊維製品加工の内職をする者が65%と圧倒的に多く、次いで木竹紙・印刷製品加工（9%）、雑貨加工（8%）、化学・皮革・土石製品加工（7%）の順になっている。

通常の就業時間は、1日2時間程度から10時間を超えるものとまちまちであるが、4時間から8時間というのが約6割を占めており、平均は約5時間である。とくに長く働くという日の就業時間はこれよ

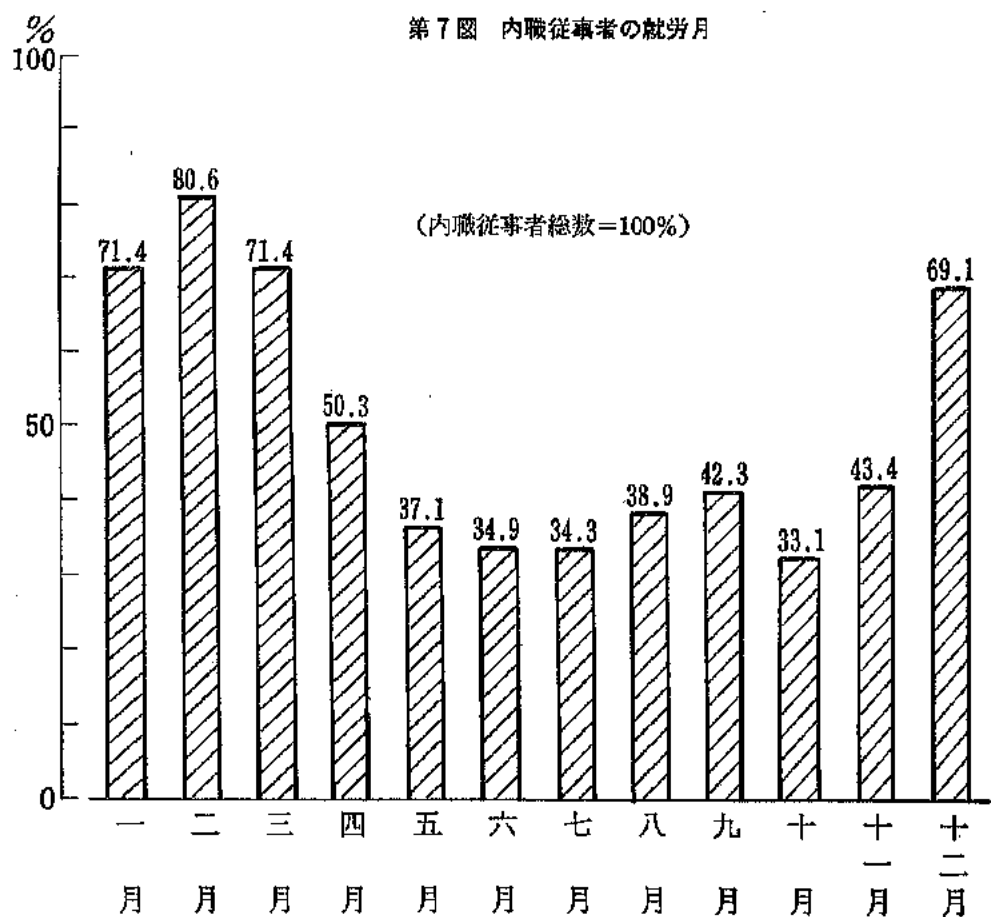
第 21 表 内職従事者の就労時間

| 総<br>実 数 | 数<br>% | 2時間未満 | 2時間以上<br>4時間未満 | 4～6時間 | 6～8時間 | 8～10時間 | 10時間以上 | 不 明 | 平 均    |
|----------|--------|-------|----------------|-------|-------|--------|--------|-----|--------|
|          |        |       |                |       |       |        |        |     |        |
| 175      | 100%   | 1.1   | 22.9           | 37.7  | 17.7  | 16.0   | 4.0    | 0.6 | 5時間12分 |

第 22 表 内職従事者の年間の内職従事日数

|           | 総<br>実 数 | 数<br>% | 10日<br>未満 | 10～<br>19日 | 20～<br>29日 | 30～<br>59日 | 60～<br>99日 | 100～<br>199日 | 200日<br>以上 | 平 均<br>日 数 |
|-----------|----------|--------|-----------|------------|------------|------------|------------|--------------|------------|------------|
|           |          |        |           |            |            |            |            |              |            |            |
| 計         | 175      | 100%   | —         | 0.6        | 4.6        | 12.6       | 22.9       | 33.0         | 26.3       | 129日       |
| 経 都 市 近 郊 | 25       | 100    | —         | —          | —          | 20.0       | 28.0       | 40.0         | 12.0       | 114        |
| 済 平 地 農 村 | 62       | 100    | —         | —          | 9.7        | 14.5       | 9.7        | 40.3         | 25.8       | 130        |
| 地 農 山 村   | 70       | 100    | —         | —          | 2.9        | 8.6        | 28.6       | 28.6         | 31.3       | 137        |
| 帯 山 村     | 18       | 100    | —         | 5.6        | 11.1       | 38.8       | 16.7       | 27.8         | —          | 118        |

第 7 図 内職従事者の就労月



り約2時間多く、平均約7時間である。

年間の内職従事日数は100～200日が33%、100日以下41%、200日以上26%で、平均は約130日である。経済地帯別にみると農山村は137日で最も日数が多い。また月別にみると大体どの月にも内職従事者の3割以上のものが働いているが、とくに12月から3月にかけての農閑期には7割から8割のものが就業している。(第22表、第7図)

内職従事者の6割はその内職を39年以後にはじめている。さらにその過半数は41年以後にはじめてのものである。特に山村では全体の6割近くが41年以後にはじめてのものである。

内職就業の経路は、縁故や知人の紹介によるものが大部分(71%)であるが、業者・仲介人からというものも15%ある。

内職の1日の収入は200円から500円までのものが55%、500円以上は31%、200円未満は13%である。年間収入は幅広く分布しているが、2万円～5万円が3分の1、5万円以上と2万円未満がそれぞれ3分の1を占め、平均は5万2千円である。経済地帯別には農山村と平地農村には5万円以上層が多く、とくに農山村は平均7万円となっている。

第 23 表 内職従事者の年間収入金額

|           | 総<br>実 数 | 数<br>% | 5,000<br>円未満 | 5,000<br>円以上<br>1万円未満 | 1～2<br>万円 | 2～5<br>万円 | 5～10<br>万円 | 10～20<br>万円 | 20～50<br>万円 | 50万円<br>以上 | 不 明 | 平 均  |
|-----------|----------|--------|--------------|-----------------------|-----------|-----------|------------|-------------|-------------|------------|-----|------|
|           |          |        |              |                       |           |           |            |             |             |            |     |      |
| 計         | 175      | 100    | 4.0          | 6.9                   | 21.7      | 31.9      | 21.1       | 10.9        | 2.3         | 0.6        | 0.6 | 52千円 |
| 経 都 市 近 郊 | 25       | 100    | —            | —                     | 36.0      | 40.0      | 16.0       | 4.0         | —           | —          | 4.0 | 34   |
| 済 平 地 農 村 | 62       | 100    | 6.5          | 11.3                  | 16.1      | 29.0      | 24.2       | 11.3        | 1.6         | —          | —   | 46   |
| 地 農 山 村   | 70       | 100    | 1.4          | 2.9                   | 22.9      | 32.8      | 20.0       | 14.3        | 4.3         | 1.4        | —   | 70   |
| 帯 山 村     | 18       | 100    | 11.1         | 16.7                  | 16.7      | 27.7      | 22.2       | 5.6         | —           | —          | —   | 36   |

内職に要する材料、製品の運搬者についてみると、業者、仲介人が55%で、内職業自身が運ぶものは7%であるが、業者等が運搬するというものが農山村では69%と多くなっている。

第 24 表 内職従事者の材料・製品運搬者

|           | 総<br>実 数 | 数<br>% | 自 分  | グループ<br>の人 | 業者・<br>仲介人 | 公共機関<br>の職員 | そ の 他 |
|-----------|----------|--------|------|------------|------------|-------------|-------|
|           |          |        |      |            |            |             |       |
| 計         | 175      | 100    | 27.4 | 1.1        | 55.5       | 0.6         | 15.4  |
| 経 都 市 近 郊 | 25       | 100    | 36.0 | —          | 40.0       | —           | 24.0  |
| 済 平 地 農 村 | 62       | 100    | 29.0 | 1.6        | 53.3       | 1.6         | 14.5  |
| 地 農 山 村   | 70       | 100    | 22.9 | —          | 68.5       | —           | 8.6   |
| 帯 山 村     | 18       | 100    | 27.8 | 5.6        | 33.3       | —           | 33.3  |

家族のなかで内職者本人のほかに補助をする人があるというのは忙しいときだけが11%、常時という

のが5%,計16%で、その主な者は夫である。

#### (6) 自営業

自営業(農外就労者の17%が従事)は卸売、小売が49%で最も多く、次いで製造業30%、サービス業7%などである。

これら家業の主たる従事者は対象者自身が54%、夫が45%、父母が5%である。

自営業者の60%が昭和34年以前からその仕事をやっており、39年以後にはじめたものは20%(うち41年以降は8%)である。年間の就労日数は平均247日である。

### Ⅲ 農外就労と家庭生活

#### 1 主婦の収入の管理者

主婦が農外就労で得た収入の管理を誰がするかについては、「主婦自身が管理する」という者が最も多く、72%を占める。その他は「小使い程度を自分のものとして残金は家の者に渡す」という者が9%、「全額家の者に渡してしまう」者が17%で、「家の者」とは「夫」が約8割、「姑」が1割前後である。

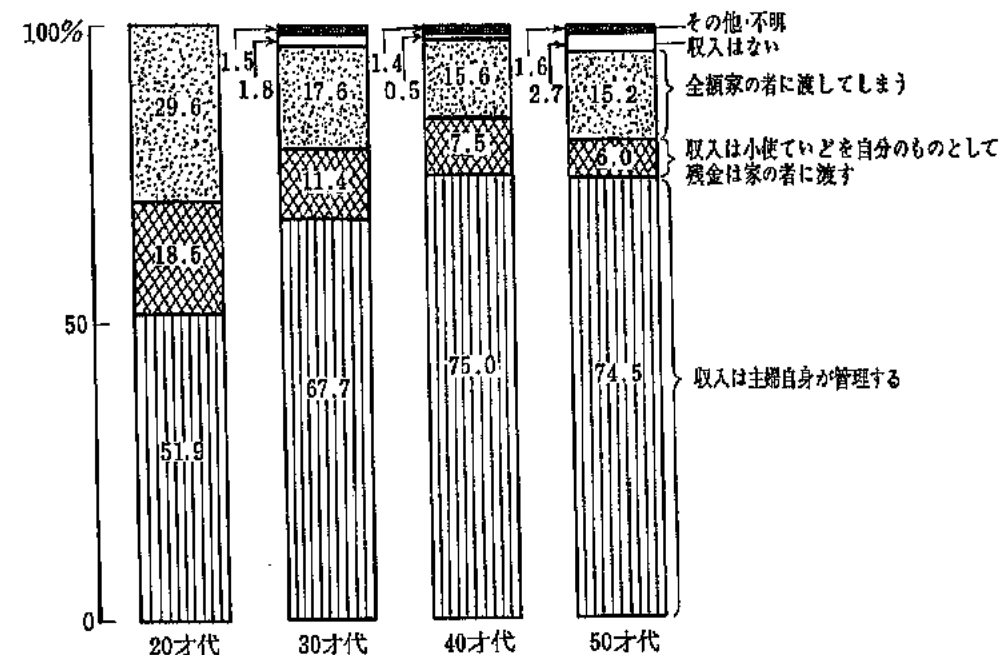
収入を自分が管理するという者は就労形態別では内職に多く(84%)、自営業に50%と少ない。

第25表 主婦の収入の管理者

|         |       |     | 総 数 |       | 収入は主婦自身が管理する | 収入は小使い程度を自分のものとして残金は家の者に渡す | 全額家の者に渡してしまう | 収入はない | その他 | 不明  |
|---------|-------|-----|-----|-------|--------------|----------------------------|--------------|-------|-----|-----|
|         |       |     | 実数  | %     |              |                            |              |       |     |     |
| 計       |       |     | 899 | 100%  | 72.0         | 8.7                        | 16.6         | 1.3   | 1.3 | 0.1 |
| 地 域     | 東 北   | 102 | 100 | 72.6  | 7.8          | 19.6                       | —            | —     | —   | —   |
|         | 関 東   | 88  | 100 | 71.6  | 9.1          | 13.6                       | 3.4          | 2.3   | —   | —   |
|         | 中 部   | 261 | 100 | 72.4  | 6.9          | 18.8                       | —            | 1.9   | —   | —   |
|         | 近 畿   | 110 | 100 | 62.7  | 5.5          | 26.4                       | 3.6          | 1.8   | —   | —   |
|         | 中 国   | 120 | 100 | 77.6  | 12.5         | 8.3                        | 0.8          | 0.8   | —   | —   |
|         | 四 国   | 70  | 100 | 81.5  | 10.0         | 7.1                        | 1.4          | —     | —   | —   |
| 就 労 形 態 | 九 州   | 148 | 100 | 68.9  | 10.8         | 16.2                       | 2.0          | 1.4   | 0.7 | —   |
|         | 恒常的勤務 | 173 | 100 | 70.4  | 11.6         | 16.2                       | —            | 1.2   | 0.6 | —   |
|         | 臨時的勤務 | 311 | 100 | 74.9  | 9.0          | 15.8                       | —            | 0.3   | —   | —   |
|         | 出 稼 ぎ | 4   | 100 | 100.0 | —            | —                          | —            | —     | —   | —   |
|         | 農業賃労働 | 98  | 100 | 76.6  | 7.1          | 14.3                       | —            | 2.0   | —   | —   |
|         | 内 職   | 166 | 100 | 84.4  | 4.2          | 11.4                       | —            | —     | —   | —   |
|         | 自 営 業 | 147 | 100 | 49.0  | 10.9         | 26.5                       | 8.2          | 4.8   | —   | —   |

年令別にみると、収入を主婦自身が管理する者の割合は高年令層ほど多い(20代52%、30代68%、40代と50代75%)。反対に「全額家の者にわたす」者の割合は20代にもっとも多く30%である。

第8図 年令別主婦の収入の管理者



なお、主婦の農外就労による年間の総収入(注)は平均では7万9千円である。

地域別では近畿(9万7千円)と中部(9万6千円)が多く、東北(5万5千円)が一番少ない。

第26表 年間農外総収入

|         |      |     | 総 数 |      | 1万円未満 | 1万円以上~2万円未満 | 2~3万円 | 3~5万円 | 5~10万円 | 10~20万円 | 20~50万円 | 50万円以上 | 不明  | 平均金額 |
|---------|------|-----|-----|------|-------|-------------|-------|-------|--------|---------|---------|--------|-----|------|
|         |      |     | 実数  | %    |       |             |       |       |        |         |         |        |     |      |
| 計       |      |     | 746 | 100% | 11.0  | 13.7        | 10.1  | 16.4  | 20.0   | 16.4    | 10.2    | 0.7    | 1.5 | 79千円 |
| 地 域     | 東 北  | 86  | 100 | 17.4 | 9.3   | 11.6        | 26.8  | 14.0  | 18.6   | 2.3     | —       | —      | —   | 55   |
|         | 関 東  | 68  | 100 | 13.2 | 17.6  | 10.3        | 16.2  | 23.6  | 8.8    | 5.9     | 1.5     | 2.9    | —   | 70   |
|         | 中 部  | 229 | 100 | 6.6  | 15.3  | 7.4         | 13.1  | 22.2  | 17.5   | 15.7    | 0.9     | 1.3    | —   | 96   |
|         | 近 畿  | 81  | 100 | 8.6  | 9.9   | 6.2         | 17.3  | 17.3  | 26.0   | 12.3    | 1.2     | 1.2    | —   | 97   |
|         | 中 国  | 106 | 100 | 13.2 | 17.0  | 9.4         | 18.9  | 14.2  | 14.2   | 9.4     | 0.9     | 2.8    | —   | 73   |
|         | 四 国  | 56  | 100 | 8.9  | 14.3  | 8.9         | 10.7  | 28.6  | 17.9   | 8.9     | —       | 1.8    | —   | 74   |
| 就 労 形 態 | 九 州  | 120 | 100 | 14.2 | 10.8  | 17.5        | 15.0  | 22.5  | 11.7   | 7.5     | —       | 0.8    | —   | 63   |
|         | 都市近郊 | 102 | 100 | 6.9  | 20.6  | 7.8         | 22.5  | 15.7  | 10.8   | 13.7    | 1.0     | 1.0    | —   | 80   |
|         | 平地農村 | 270 | 100 | 14.1 | 6.7   | 10.0        | 13.7  | 19.3  | 20.2   | 14.1    | 0.4     | 1.5    | —   | 92   |
|         | 農山村  | 277 | 100 | 7.6  | 16.2  | 11.6        | 17.3  | 23.1  | 14.4   | 6.9     | 0.7     | 2.2    | —   | 69   |
|         | 山村   | 97  | 100 | 16.5 | 18.6  | 8.2         | 14.4  | 19.6  | 16.5   | 5.2     | 1.0     | —      | —   | 71   |
|         | 経済地帯 | —   | —   | —    | —     | —           | —     | —     | —      | —       | —       | —      | —   | —    |

注) 総数746は自営業を除いた数である。

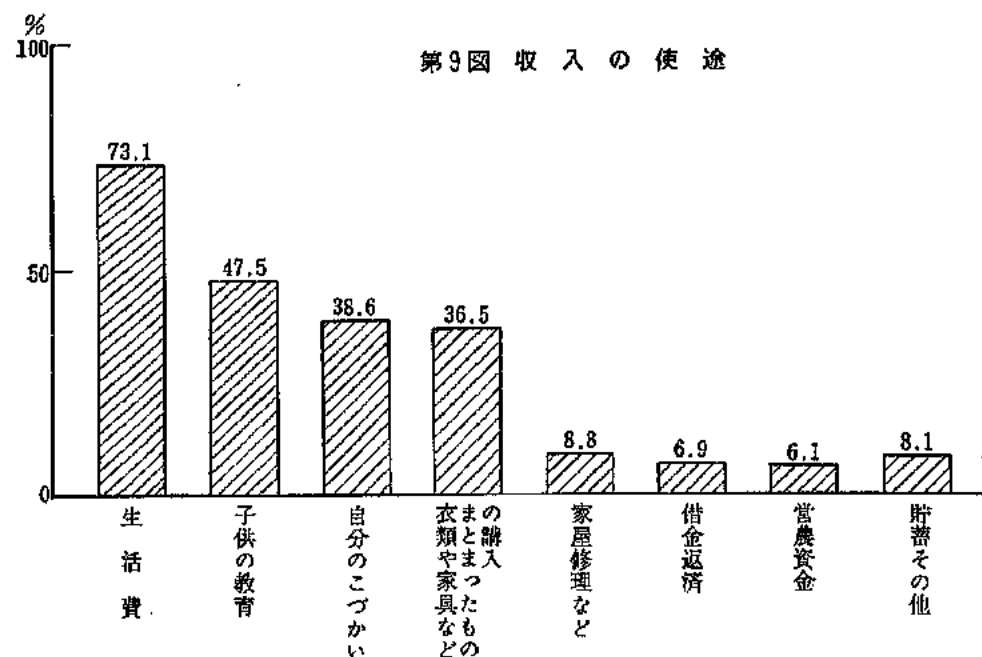


経済地帯別にみると、平地農村が9万2千円で最も多いのに対し農山村では6万9千円で少ない。

(注) 年間総収入とは、1人がたとえば臨時的勤務と内職というように2種類以上の就労をした場合は、それぞれの収入を合計したものである。

## 2 収入の使途

主婦の得た収入の使途としては「生活費」をあげたものが最も多く、農外就労者全体の73%を占める。次いで「子供の教育」(48%)、「自分のこづかい」(39%)、「衣類や家具などまとまったものの購入」(37%)があげられ、以上が収入の使途の主なものである。そのほかに、家屋修理など(9%)、借金返済(7%)、営農資金(6%)などがみられる。



経済地帯別にみると、都市近郊では「自分のこづかい」をあげたものが47%と多いのに対し、山村ではわずか26%にすぎない。

年令別では、20代の主婦は「自分のこづかい」と「衣類や家具などまとまったものの購入」をあげるものが目立って多い(63%と59%)。また30代と40代では「子供の教育」にあてる者が多い(56%と52%)。(第27表)

## 3 家事・育児に及ぼす影響

### (1) 家事・育児への影響の有無

主婦が農外就労をすることが家事育児にさしつかえるかどうかについてみると、「さしつかえはない」と答えた者が56%、程度の差はあれ「さしつかえる」と答えた者は44%である。

就労形態別にみると、「さしつかえはない」と答えた者は、内職と農業賃労働に多く(70%前後)、「さしつかえる」者は恒常的勤務に比較的多い(60%)。年令別では、「さしつかえる」者は20~30代で

は半数以上を占めるが、年令が高くなるにつれて次第に減少している。(第28表)

第27表 収入の使途

|      |      | 収入のある者の総数 |     | 生活費  | 子供の教育 | 衣類や家具などまとまったものを購入 | 家屋修理など | 営農資金 | 借金返済 | 自分のこづかい | その他  | わからない |
|------|------|-----------|-----|------|-------|-------------------|--------|------|------|---------|------|-------|
| 計    |      | 実数        | %   |      |       |                   |        |      |      |         |      |       |
| 経済地帯 | 都市近郊 | 119       | 100 | 64.7 | 52.1  | 31.9              | 8.4    | 4.2  | 4.2  | 47.1    | 6.7  | —     |
|      | 平地農村 | 385       | 100 | 74.0 | 50.7  | 40.0              | 9.8    | 9.6  | 7.8  | 43.6    | 11.0 | 0.6   |
|      | 農山村  | 323       | 100 | 77.7 | 44.3  | 33.7              | 7.7    | 4.6  | 6.8  | 34.7    | 6.5  | 0.3   |
|      | 山村   | 110       | 100 | 65.5 | 41.8  | 39.1              | 10.9   | 1.8  | 7.3  | 25.5    | 5.5  | 0.9   |
| 年令   | 20代  | 27        | 100 | 63.0 | 22.2  | 59.3              | 7.4    | 7.4  | 11.1 | 63.0    | 11.1 | 3.7   |
|      | 30代  | 267       | 100 | 72.3 | 55.8  | 41.6              | 7.9    | 6.0  | 6.7  | 36.3    | 5.2  | 0.4   |
|      | 40代  | 414       | 100 | 76.8 | 52.4  | 34.5              | 10.6   | 6.5  | 6.8  | 37.9    | 8.9  | 0.2   |
|      | 50代  | 179       | 100 | 67.0 | 27.3  | 30.2              | 6.1    | 5.0  | 6.7  | 39.7    | 10.1 | 0.6   |

(注) 多答のため、各項目の計は100%をこえる。

第28表 家事・育児への影響の有無

|      |       | 総数  |      | あ    | 多    | は    | な   | 不 |
|------|-------|-----|------|------|------|------|-----|---|
|      |       | 実数  | %    | る    | あ    | る    | い   | 明 |
| 計    |       | 887 | 100% | 13.9 | 29.8 | 56.2 | 0.1 |   |
| 就労形態 | 恒常的勤務 | 173 | 100  | 21.4 | 38.1 | 39.9 | 0.6 |   |
|      | 臨時的勤務 | 311 | 100  | 17.0 | 28.0 | 55.0 | —   |   |
|      | 出稼    | 4   | 100  | —    | 25.0 | 75.0 | —   |   |
|      | 農業賃労働 | 98  | 100  | 7.1  | 24.5 | 68.4 | —   |   |
|      | 内職    | 165 | 100  | 4.8  | 24.1 | 71.1 | —   |   |
|      | 自営業   | 147 | 100  | 13.6 | 34.0 | 52.4 | —   |   |
| 年令   | 20代   | 27  | 100  | 22.2 | 33.4 | 44.4 | —   |   |
|      | 30代   | 272 | 100  | 18.8 | 31.6 | 49.2 | 0.4 |   |
|      | 40代   | 416 | 100  | 10.8 | 31.5 | 57.7 | —   |   |
|      | 50代   | 184 | 100  | 12.5 | 22.8 | 64.7 | —   |   |

### (2) 影響の内容

家事・育児にさしつかえることとしては、「子供のせわ・勉強相手」(51%)、「炊事」(48%)、「そうじ・せんたく」(47%)、「衣類せらい・ぬいもの」(42%)をあげたものが多い。次いで、「夫のせわ」(17%)、「老人・病人のせわ」(10%)および買物(9%)などがみられる。

自営業に従事する者には炊事、そうじ、洗濯など家事全般に影響のある者が比較的多い。年令別には

20～30代では「子供のせわ・勉強相手」にさしつかえると答えた者が75%前後の多数を占める。炊事、掃除、せんたく等の家事にさしつかえるという者は概して高年令は多い。

第 29 表 家事・育児への影響の内容

|                  |           | 家事・育児に影響<br>あるものの総数 |      | 炊 事   | そうじ・<br>せんたく | 衣類せい<br>り・ぬい<br>もの | 夫のせわ  | 子供のせ<br>わ・勉強<br>相手 | 老人・病<br>人のせわ | 買 物  | その他 |
|------------------|-----------|---------------------|------|-------|--------------|--------------------|-------|--------------------|--------------|------|-----|
|                  |           | 実 数                 | %    |       |              |                    |       |                    |              |      |     |
| 計                |           | 393                 | 100% | 48.1  | 46.8         | 42.2               | 17.3  | 15.4               | 9.7          | 9.2  | 3.3 |
| 就<br>労<br>形<br>態 | 恒 常 的 勤 務 | 103                 | 100  | 39.8  | 39.8         | 36.9               | 12.6  | 52.4               | 8.7          | 8.7  | 2.9 |
|                  | 臨 時 的 勤 務 | 140                 | 100  | 47.9  | 51.4         | 39.3               | 16.4  | 57.1               | 7.9          | 8.6  | 4.3 |
|                  | 出 稼 ぎ     | 1                   | 100  | 100.0 | 100.0        | 100.0              | 100.0 | 100.0              | —            | —    | —   |
|                  | 農 業 賃 労 働 | 31                  | 100  | 51.6  | 51.6         | 29.0               | 9.7   | 29.0               | 12.9         | 3.2  | 6.6 |
|                  | 内 職       | 48                  | 100  | 41.7  | 54.2         | 45.8               | 20.8  | 50.0               | 8.3          | 6.3  | 4.2 |
|                  | 自 営 業     | 70                  | 100  | 62.9  | 55.7         | 58.6               | 25.7  | 47.1               | 14.3         | 15.7 | —   |
| 年<br>令           | 20 代      | 15                  | 100  | 33.3  | 33.3         | 26.7               | 33.3  | 73.3               | 6.7          | 6.7  | 6.7 |
|                  | 30 代      | 137                 | 100  | 43.1  | 43.1         | 38.0               | 16.1  | 77.4               | 8.8          | 5.8  | 2.2 |
|                  | 40 代      | 176                 | 100  | 52.3  | 51.7         | 45.5               | 18.8  | 38.6               | 10.2         | 12.5 | 3.4 |
|                  | 50 代      | 65                  | 100  | 50.8  | 61.5         | 46.2               | 12.3  | 24.6               | 10.8         | 7.7  | 4.6 |

注) 多答のため各項目の計は100%をこえる。

#### 4 家族の態度

主婦が農外就労することに家族は賛成であるという者は、農外就労をする者の7割強、そのうち家族がむしろ積極的に勧めるというものが8%ある。一方、家族が不賛成であるというものが10%、また賛成か不賛成がはっきりわからないという者も14%ある。

家族が、主婦の農外就労に賛成であるというものは自営業に86%で最も多く、次いで多いのは恒常的勤務の79%である。

第 30 表 家 族 の 態 度

|                  |           | 総 数 |      | 積極的に<br>すすめる | 賛 成  | 不 賛 成 | 賛成か不賛成が<br>はっきりわかない | そ の 他 | 不 明 |
|------------------|-----------|-----|------|--------------|------|-------|---------------------|-------|-----|
|                  |           | 実 数 | %    |              |      |       |                     |       |     |
| 計                |           | 899 | 100% | 7.6          | 66.3 | 10.2  | 14.1                | 1.7   | 0.1 |
| 就<br>労<br>形<br>態 | 恒 常 的 勤 務 | 173 | 100  | 6.9          | 71.7 | 8.1   | 12.1                | 0.6   | 0.6 |
|                  | 臨 時 的 勤 務 | 311 | 100  | 4.2          | 63.3 | 13.2  | 17.7                | 1.6   | —   |
|                  | 出 稼 ぎ     | 4   | 100  | —            | 25.0 | 50.0  | —                   | 25.0  | —   |
|                  | 農 業 賃 労 働 | 98  | 100  | 3.1          | 64.3 | 11.2  | 19.4                | 2.0   | —   |
|                  | 内 職       | 166 | 100  | 5.4          | 69.3 | 11.4  | 13.3                | 0.6   | —   |
|                  | 自 営 業     | 147 | 100  | 21.1         | 65.3 | 3.4   | 6.8                 | 3.4   | —   |

#### 5 部落つきあいに及ぼす影響

##### (1) 影響の有無

主婦の農外就労は、部落のつきあいに影響を与えるかどうかについてみると、「影響がない」と答えた者が農外就労者の8割を占め、「影響がある」と答えた者は2割である。

就労形態別では「影響がない」と答えた者は農業賃労働と内職に92%と目立って多く、一方「影響がある」と答えた者は恒常的勤務と自営業に多い(39%と28%)。年令別にはほとんど差がみられない。

##### (2) 影響の内容

部落つきあいの上で、「影響がある」と答えた者に対して、その内容をたずねたところ、9割の者が「婦人会・PTA・農協などの集まり」と答えている。そのほかに「道ぶしんや消防などの共同作業」をあげたもの、「冠婚葬祭」をあげたものが、それぞれ2割前後ある。

第 31 表 部落つきあいへの影響の内容

|                  |           | 部落つきあいに影響あ<br>る者の総数 |      | 婦人会・PTA・農協<br>などの集まり | 道ぶしんや消<br>防などの共同<br>作業 | 冠婚葬祭 | そ の 他 |
|------------------|-----------|---------------------|------|----------------------|------------------------|------|-------|
|                  |           | 実 数                 | %    |                      |                        |      |       |
| 計                |           | 176                 | 100% | 90.9                 | 22.2                   | 15.4 | 2.3   |
| 就<br>労<br>形<br>態 | 恒 常 的 勤 務 | 67                  | 100  | 92.5                 | 32.8                   | 17.9 | 2.9   |
|                  | 臨 時 的 勤 務 | 47                  | 100  | 93.0                 | 12.7                   | 19.3 | 2.1   |
|                  | 出 稼 ぎ     | —                   | —    | —                    | —                      | —    | —     |
|                  | 農 業 賃 労 働 | 8                   | 100  | 100.0                | —                      | —    | —     |
|                  | 内 職       | 13                  | 100  | 92.3                 | 7.7                    | —    | —     |
|                  | 自 営 業     | 41                  | 100  | 85.4                 | 22.9                   | 14.6 | 2.4   |
| 年<br>令           | 20 代      | 6                   | 100  | 100.0                | 16.7                   | —    | —     |
|                  | 30 代      | 52                  | 100  | 98.1                 | 13.5                   | 13.5 | 1.9   |
|                  | 40 代      | 89                  | 100  | 90.0                 | 23.6                   | 13.5 | 1.2   |
|                  | 50 代      | 29                  | 100  | 79.3                 | 34.5                   | 27.6 | 6.9   |

注) 多答のため各項目の計は100%をこえる

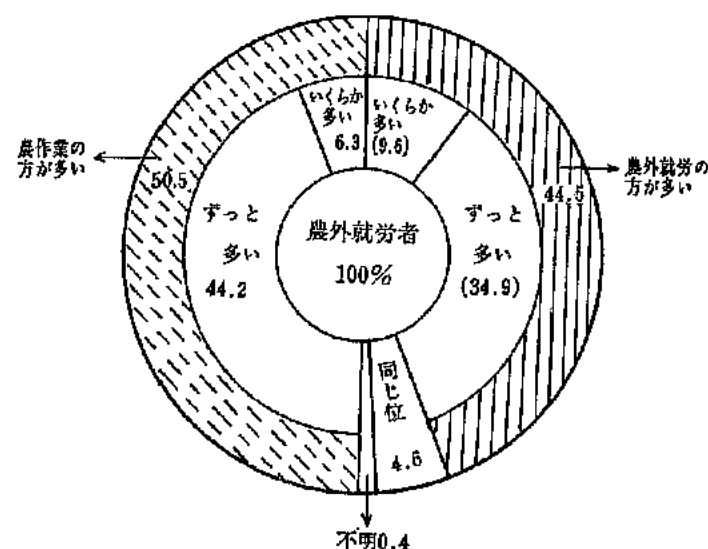
#### Ⅳ 農外就労と農業経営

##### 1 労働生活における農外就労の比重

過去1年間に農外就労をしたことがある者が、農外就労と農作業のどちらに多く従事したかをみると「農外就労の方が多い」と答えた者は45%で、「農作業の方が多い」と答えた者は51%、「両方同じくらい」と答えたものが5%ある。

経済地帯別にみると、山村と農山村では「農作業の方が多い」と答えた者が多く(61%と54%)、他の2地帯では「農作業の方」と「農外就労の方」がほぼ半々である。就労形態別では、恒常的勤務と

第10図 労働生活における農外就労の比重



自営業に“農外就労の方が多し”者が高率を示し（90%と76%），反面，農業賃労働と臨時的勤務には“農作業の方が多し”という者の比重が高い（91%と78%）。

第 32 表 労働生活における農外就労の比重

|                  |           | 総 数 |      | 農作業の<br>方がずつ<br>と多い | 農作業の<br>方がいく<br>らか多い | 同<br>じく<br>ら<br>い | 農外就<br>労の<br>方が<br>いく<br>らか<br>多<br>い | 農外就<br>労の<br>方が<br>ずつ<br>と多<br>い | 不 明 |
|------------------|-----------|-----|------|---------------------|----------------------|-------------------|---------------------------------------|----------------------------------|-----|
|                  |           | 実 数 | %    |                     |                      |                   |                                       |                                  |     |
| 計                |           | 899 | 100% | 44.2                | 6.3                  | 4.6               | 9.6                                   | 34.9                             | 0.4 |
| 経<br>済<br>地<br>帯 | 都 市 近 郊   | 122 | 100  | 45.0                | 3.3                  | 4.9               | 6.6                                   | 40.2                             | —   |
|                  | 平 地 農 村   | 338 | 100  | 38.2                | 6.2                  | 3.8               | 11.8                                  | 39.1                             | 0.9 |
|                  | 農 山 村     | 329 | 100  | 47.1                | 7.0                  | 4.9               | 9.7                                   | 31.3                             | —   |
|                  | 山 村       | 110 | 100  | 52.6                | 8.2                  | 5.5               | 5.5                                   | 27.3                             | 0.9 |
| 就<br>労<br>形<br>態 | 恒 常 的 勤 務 | 173 | 100  | 4.0                 | 1.2                  | 4.0               | 9.8                                   | 80.4                             | 0.6 |
|                  | 臨 時 的 勤 務 | 311 | 100  | 66.5                | 11.3                 | 4.5               | 8.7                                   | 9.0                              | —   |
|                  | 出 稼 ぎ     | 4   | 100  | 100.0               | —                    | —                 | —                                     | —                                | —   |
|                  | 農 業 賃 労 働 | 98  | 100  | 83.8                | 7.1                  | 2.0               | 5.1                                   | 2.0                              | —   |
|                  | 内 職       | 166 | 100  | 44.0                | 5.4                  | 8.4               | 15.1                                  | 27.1                             | —   |
|                  | 自 営 業     | 147 | 100  | 16.3                | 2.7                  | 2.7               | 8.2                                   | 68.1                             | 2.0 |

## 2 農業経営への影響

「農外就労をしたために，農作物のできに影響することがあったか」との問に対して，66%の者は“ない”と答え，“ある”と答えた者は33%である。“ある”と答えた者について影響の程度をみると“大いに影響する”という者は少なく，“多少影響する”という者が大部分である。

就労形態別では“影響がある”というものは恒常的勤務（46%），自営業（40%），臨時的勤務（36%）にかなり多いのに対し，農業賃労働と内職は10%台で少ない。

経済地帯別では，平地農村に影響のあるものが多く（37%），山村は少ない（23%）。

第 33 表 農業経営への影響

|         |           | 総 数 |      | 大いに影響する | 多少影響する | 影響することはない | そ の 他 | わ か ら な い | 不 明 |
|---------|-----------|-----|------|---------|--------|-----------|-------|-----------|-----|
|         |           | 実 数 | %    |         |        |           |       |           |     |
| 計       |           | 899 | 100% | 5.8     | 26.7   | 66.2      | 0.4   | 0.8       | 0.1 |
| 経 済 地 帯 | 都 市 近 郊   | 122 | 100  | 8.2     | 20.5   | 71.3      | —     | —         | —   |
|         | 平 地 農 村   | 338 | 100  | 5.6     | 31.4   | 61.8      | —     | 0.9       | 0.3 |
|         | 農 山 村     | 329 | 100  | 6.4     | 26.1   | 66.0      | 0.9   | 0.6       | —   |
|         | 山 村       | 110 | 100  | 1.8     | 20.9   | 74.6      | 0.9   | 1.8       | —   |
| 就 労 形 態 | 恒 常 的 勤 務 | 173 | 100  | 10.4    | 35.3   | 53.7      | —     | —         | 0.6 |
|         | 臨 時 的 勤 務 | 311 | 100  | 2.9     | 33.1   | 62.7      | 0.3   | 1.0       | —   |
|         | 出 稼 ぎ     | 4   | 100  | —       | 25.0   | 75.0      | —     | —         | —   |
|         | 農 業 賃 労 働 | 98  | 100  | 1.0     | 11.2   | 84.8      | 1.0   | 2.0       | —   |
|         | 内 職       | 166 | 100  | 3.0     | 14.5   | 81.3      | 0.6   | 0.6       | —   |
|         | 自 営 業     | 147 | 100  | 12.9    | 27.2   | 58.5      | 0.7   | 0.7       | —   |

## 3 農業継続希望の有無

「今後家の農業をどのようにしたいと思うか」との問に対して，農外就労をする対象者の8割余が

第 34 表 農業継続希望の有無

|                  |           | 総 数 |      | 今のまま<br>つづけた<br>い | 縮小した<br>い | やめたい | やめたい<br>がやめら<br>れない | わからな<br>い | その他 | 不 明 |
|------------------|-----------|-----|------|-------------------|-----------|------|---------------------|-----------|-----|-----|
|                  |           | 実 数 | %    |                   |           |      |                     |           |     |     |
| 計                |           | 899 | 100% | 81.4              | 3.6       | 2.2  | 7.0                 | 2.3       | 3.2 | 0.3 |
| 経<br>済<br>地<br>帯 | 都 市 近 郊   | 122 | 100  | 75.3              | 4.9       | 2.5  | 7.4                 | 2.5       | 6.6 | 0.8 |
|                  | 平 地 農 村   | 338 | 100  | 85.8              | 4.1       | 2.1  | 4.1                 | 1.5       | 1.8 | 0.6 |
|                  | 農 山 村     | 329 | 100  | 76.4              | 3.0       | 2.1  | 10.3                | 3.6       | 4.6 | —   |
|                  | 山 村       | 110 | 100  | 89.1              | 1.8       | 2.7  | 6.6                 | 0.9       | —   | —   |
| 就<br>労<br>形<br>態 | 恒 常 的 勤 務 | 173 | 100  | 79.2              | 4.0       | 1.7  | 8.7                 | 2.3       | 2.9 | 1.2 |
|                  | 臨 時 的 勤 務 | 311 | 100  | 81.9              | 2.3       | 1.6  | 7.1                 | 2.3       | 4.8 | —   |
|                  | 出 稼 ぎ     | 4   | 100  | 100.0             | —         | —    | —                   | —         | —   | —   |
|                  | 農 業 賃 勞 働 | 98  | 100  | 91.9              | 1.0       | —    | 3.1                 | 2.0       | 2.0 | —   |
|                  | 内 職       | 166 | 100  | 83.8              | 3.0       | 3.6  | 5.4                 | 2.4       | 1.8 | —   |
|                  | 自 営 業     | 147 | 100  | 72.1              | 8.2       | 4.1  | 9.5                 | 2.7       | 2.7 | 0.7 |

「今のままつづけたい」と答えている。この答は、特に農業賃労働に多く(92%)、自営業に比較的少ない(72%)。年令別には差はみられない。今後農業をつづけることに消極的な態度を示した答として、「やめたいがやめられない」(7%)、「減少したい」(4%弱)、「やめたい」(2%)があるが、これらはいずれも自営業にやや多い。

## V 農外就労者の意識

### 1 農外就労をしてよかったこと

「農業以外の仕事をして、お金がとれることのほかに良かったと思うことがあるか」との問に対して、農外就労をする主婦の9割近くが「よかったと思うことがある」と答え、特に20才代では100%を占めている。「よかったと思うことはない」と答えた者は全体の約1割である。

よかったと思うことの内容は、対象者の52%が、「生活にはりあいができる」と答え、次いで「気ばらしになる」が36%、「いろいろのことがおぼえられる」「友だちができる」「家族の協力体制ができる」が、それぞれ20%台を占めている。

「生活にはりあいができる」と答えたものは20才代の主婦に極めて多い(70%)。「気ばらしになる」と答えた者は50才代の主婦に比較的多い(49%)。

第35表 農外就労をしてよかったこと

|                |    |   | 総 数 |     | 生活には<br>りあいが<br>できる | いろいろ<br>のことが<br>おぼえら<br>れる | 気ばらし<br>になる | 友だちが<br>できる | 家族の協<br>力体制が<br>できる | 家の中<br>で同居が<br>広がる | その他 | よかつた<br>と思うこ<br>とはない |
|----------------|----|---|-----|-----|---------------------|----------------------------|-------------|-------------|---------------------|--------------------|-----|----------------------|
|                |    |   | 実 数 | %   |                     |                            |             |             |                     |                    |     |                      |
| 計              |    |   | 899 | 100 | 51.7                | 27.9                       | 36.0        | 20.1        | 22.1                | 8.8                | 4.3 | 10.7                 |
| 年<br><br><br>令 | 20 | 代 | 27  | 100 | 70.4                | 37.0                       | 40.7        | 25.9        | 14.8                | 11.1               | —   | —                    |
|                | 30 | 代 | 272 | 100 | 50.4                | 30.5                       | 32.0        | 21.0        | 19.9                | 8.1                | 3.3 | 10.7                 |
|                | 40 | 代 | 416 | 100 | 53.8                | 28.6                       | 32.7        | 20.0        | 26.7                | 9.9                | 4.6 | 11.1                 |
|                | 50 | 代 | 184 | 100 | 46.2                | 21.2                       | 48.9        | 18.5        | 16.3                | 7.1                | 6.0 | 11.4                 |

注) 多答のため各項目の計は100%をこえる。

### 2 仕事について困ること

#### (1) 仕事について困ることの有無

農外就労をしているものに「仕事について何か困ることや不満なことがあるか」ときいたのに対して「ある」と答えた者は28%である。恒常的勤務では39%と比較的多く、農業賃労働は12%で少ない。(第36表)

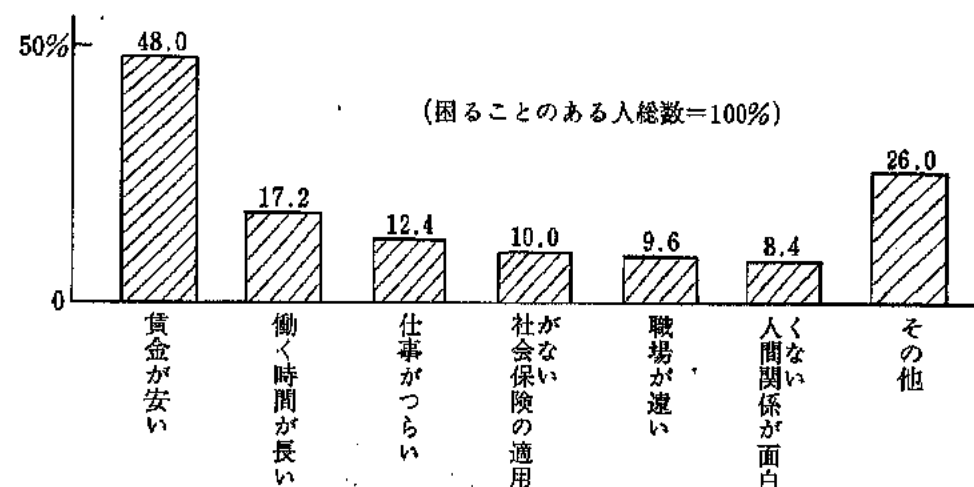
#### (2) 困ることの内容

困ることの内容についてみると、「ある」と答えた者の半数が「賃金が安い」ことをあげており、これは恒常的勤務(69%)と内職(74%)にきわだって多い。そのほか働く時間が長い(17%)、仕事がつらい(12%)、社会保険の適用がない(10%)、職場が遠い(10%)などの苦情や不満があげられている。(第11図)

第36表 農外就労について困ることの有無

|         |           | 総 数 |      | あ る  | な い   | 不 明 |
|---------|-----------|-----|------|------|-------|-----|
|         |           | 実 数 | %    |      |       |     |
| 計       |           | 899 | 100% | 27.8 | 72.1  | 0.1 |
| 就 労 形 態 | 恒 常 的 勤 務 | 173 | 100  | 38.7 | 60.7  | 0.6 |
|         | 臨 時 的 勤 務 | 311 | 100  | 25.1 | 74.9  | —   |
|         | 出 稼 ぎ     | 4   | 100  | —    | 100.0 | —   |
|         | 農 業 賃 勞 働 | 98  | 100  | 12.2 | 87.8  | —   |
|         | 内 職       | 166 | 100  | 27.7 | 72.3  | —   |
|         | 自 営 業     | 147 | 100  | 32.0 | 68.0  | —   |

第11図 仕事について困ること



### 3 結婚前の就労経験の有無

農外就労をする対象者のうち、結婚前にも何らかの農外就労を「したことがある」というものは51%である。

農山村と山村では「したことがある」という者は「ない」ものよりむしろ多いが、都市近郊と平地農村ではその逆で、「したことがない」ものの方が多い。

就労形態別では、「したことがある」ものは、恒常的勤務にもっとも多く、60%である。内職と自営業でも「したことがある」ものの方が「ない」ものより多い(55%と56%)。臨時的勤務ではその反対に、「ある」ものより「ない」ものの方が多い(44%と56%)。

年令別では、「したことがある」ものが20才代に78%とめだつて多い。(第37表)

### 4 結婚後農外就労をはじめた時期

結婚後はじめて農外就労をした時期は昭和35年以後が過半数の63%を占める。35年以後の各年につい

第 37 表 結婚前の就労経験の有無

|                  |           | 総 数 |      | したことが<br>ない | したことが<br>ある | 不 明 |
|------------------|-----------|-----|------|-------------|-------------|-----|
|                  |           | 実 数 | %    |             |             |     |
| 計                |           | 899 | 100% | 49.1        | 50.7        | 0.2 |
| 経<br>済<br>地<br>帯 | 都 市 近 郊   | 122 | 100  | 54.1        | 45.9        | —   |
|                  | 平 地 農 村   | 338 | 100  | 52.1        | 47.8        | 0.6 |
|                  | 農 山 村     | 329 | 100  | 44.4        | 55.6        | —   |
|                  | 山 村       | 110 | 100  | 48.2        | 51.8        | —   |
| 就<br>労<br>形<br>態 | 恒 常 的 勤 務 | 173 | 100  | 39.9        | 59.5        | 0.6 |
|                  | 臨 時 的 勤 務 | 311 | 100  | 56.3        | 43.7        | —   |
|                  | 出 稼 ぎ     | 4   | 100  | 100.0       | —           | —   |
|                  | 農 業 賃 労 働 | 98  | 100  | 55.1        | 44.9        | —   |
|                  | 内 職       | 166 | 100  | 45.2        | 54.8        | —   |
|                  | 自 営 業     | 147 | 100  | 43.5        | 56.5        | 0.7 |
| 年<br>令           | 20 代      | 27  | 100  | 22.2        | 77.8        | —   |
|                  | 30 代      | 272 | 100  | 55.8        | 43.8        | 0.4 |
|                  | 40 代      | 416 | 100  | 46.6        | 53.2        | 0.2 |
|                  | 50 代      | 184 | 100  | 48.4        | 51.6        | —   |

てみると、35年から38年までは、毎年5～6%が、39年以後には毎年8～9%の人が農外就労をはじめ  
ているとみられる。

経済地帯別にみると都市近郊においは、41年以後にはじめた者が31%を占め、他地帯よりもこの時期  
の増加が著しい。

第 38 表 結婚後農外就労をはじめた時期

|                  |         | 総 数 |      | 昭和34年<br>以 前 | 35～36年 | 37～38年 | 39～40年 | 41年以後 | 不 明 |
|------------------|---------|-----|------|--------------|--------|--------|--------|-------|-----|
|                  |         | 実 数 | %    |              |        |        |        |       |     |
| 計                |         | 899 | 100% | 35.4         | 10.3   | 12.8   | 18.6   | 21.7  | 1.2 |
| 経<br>済<br>地<br>帯 | 都 市 近 郊 | 122 | 100  | 29.5         | 5.7    | 15.6   | 17.2   | 31.2  | 0.8 |
|                  | 平 地 農 村 | 338 | 100  | 35.0         | 12.4   | 12.1   | 18.6   | 19.8  | 2.1 |
|                  | 農 山 村   | 329 | 100  | 37.7         | 10.3   | 13.4   | 17.3   | 20.4  | 0.9 |
|                  | 山 村     | 110 | 100  | 36.4         | 9.1    | 10.0   | 23.6   | 20.9  | —   |

## 5 農外就労継続希望の有無

「農業以外の仕事をこれからもなにかしたいか」との問に対して農外就労者の8割が「したい」と答  
え、「したくない」が12%、「わからない」が8%となっている。

「したい」と答えた者は内職(88%)、自営業(85%)、恒常的勤務(84%)の順に多く、農業賃労働  
は58%で少ない。

年令が高くなるほど「したくない」者が多くなる傾向がみられる。

第 39 表 農外就労継続希望の有無

|                  |           | 総 数 |      | し た い | したくない | わからない | 不 明 |
|------------------|-----------|-----|------|-------|-------|-------|-----|
|                  |           | 実 数 | %    |       |       |       |     |
| 計                |           | 899 | 100% | 80.4  | 11.8  | 7.6   | 0.2 |
| 就<br>労<br>形<br>態 | 恒 常 的 勤 務 | 137 | 100  | 84.4  | 9.2   | 5.8   | 0.6 |
|                  | 臨 時 的 勤 務 | 311 | 100  | 79.4  | 13.2  | 7.4   | —   |
|                  | 出 稼 ぎ     | 4   | 100  | 50.0  | 25.0  | 25.0  | —   |
|                  | 農 業 賃 労 働 | 98  | 100  | 58.1  | 23.5  | 18.4  | —   |
|                  | 内 職       | 166 | 100  | 88.0  | 6.0   | 6.0   | —   |
|                  | 自 営 業     | 147 | 100  | 85.0  | 10.2  | 4.1   | 0.7 |
| 年<br>令           | 20 代      | 27  | 100  | 81.5  | 7.4   | 11.1  | —   |
|                  | 30 代      | 272 | 100  | 85.7  | 8.8   | 5.1   | 0.4 |
|                  | 40 代      | 416 | 100  | 79.9  | 11.5  | 8.4   | 0.2 |
|                  | 50 代      | 184 | 100  | 73.9  | 17.4  | 8.7   | —   |

## Ⅵ 農外非就労者の意識

## 1 農外就労をしない理由

過去1年間に農外就労をしなかった者(全対象者の53%)に、その理由をたずねたところ、「農業が  
忙しいから」という者が、全体の62%を占め最も多い。次いで「家事が充分出来ない」と「体が弱い」  
がそれぞれ20%台、「子供をみる人がいない」、「適当な仕事がない」、「収入を得る必要がない」がい  
ずれも10%前後みられる。

第 40 表 農外就労をしない理由

|        |      | 農外非就労者<br>総 数 |      | 農業が<br>忙しい | 家事が<br>充分で<br>きない | 体が弱<br>い | 子供を<br>みる人<br>がいな<br>い | 適当な<br>仕事<br>がない | 収入を<br>得る必<br>要がな<br>い | 自由時<br>間がほ<br>しい | 通勤が<br>不便 | その他  | 不明  |
|--------|------|---------------|------|------------|-------------------|----------|------------------------|------------------|------------------------|------------------|-----------|------|-----|
|        |      | 実 数           | %    |            |                   |          |                        |                  |                        |                  |           |      |     |
| 計      |      | 1,010         | 100% | 62.2       | 25.0              | 21.6     | 13.2                   | 10.9             | 8.5                    | 3.5              | 1.0       | 8.5  | 0.2 |
| 年<br>令 | 20 代 | 30            | 100  | 70.0       | 20.0              | 3.3      | 43.3                   | 10.0             | 3.3                    | 6.7              | —         | 3.3  | —   |
|        | 30 代 | 194           | 100  | 68.0       | 30.4              | 10.8     | 30.4                   | 8.8              | 4.1                    | 6.7              | 2.1       | 2.1  | —   |
|        | 40 代 | 333           | 100  | 63.4       | 25.8              | 19.2     | 7.5                    | 10.5             | 8.1                    | 3.6              | 0.6       | 5.0  | 0.9 |
|        | 50 代 | 453           | 100  | 56.1       | 22.0              | 29.3     | 7.8                    | 12.2             | 11.1                   | 1.8              | 0.9       | 13.5 | 0.2 |

注) 多答のため各項目の計は100%をこえる。

年令別にみると、農業が忙しいからというものは若い層ほど多い(20代70%,50代56%)。"子供をみる人がいないから"という者は20代と30代に多い(43%と30%)。又、"体が弱い"を理由にあげた者は高年令ほど多く、50代では29%を占める。

"子供をみる人がいないから"といった者のうち、子供の世話をする施設があれば働きに出てよいという者が22%あった。

## 2 農外就労の経験

現在農外就労をしていない者も、その約半数は以前に何らかの農業以外の就労をした経験をもっている。結婚前に就労の経験をもつものは現在就労していない者の4割弱、結婚後にもつものは2割弱である。

年令別にみると、結婚前に就労をしたことのあるものは若年令層ほど多い(20代50%~50代31%)。結婚後に経験のある者の割合には、年令による差はみられない。

第 41 表 農外就労の経験

|     |      |  | 総 数   |      | 結 婚 前 |      |     | 結 婚 後 |      |     |
|-----|------|--|-------|------|-------|------|-----|-------|------|-----|
|     |      |  | 実 数   | %    | な い   | あ る  | 不 明 | な い   | あ る  | 不 明 |
| 計   |      |  | 1,010 | 100% | 63.4  | 35.9 | 0.7 | 82.4  | 16.5 | 1.1 |
| 年 令 | 20 代 |  | 30    | 100  | 50.0  | 50.0 | —   | 83.3  | 16.7 | —   |
|     | 30 代 |  | 194   | 100  | 60.8  | 39.2 | —   | 83.0  | 16.5 | 0.5 |
|     | 40 代 |  | 333   | 100  | 59.8  | 39.3 | 0.9 | 82.9  | 15.9 | 1.2 |
|     | 50 代 |  | 453   | 100  | 67.8  | 31.3 | 0.9 | 81.6  | 17.1 | 1.3 |

## 3 今後の就労意志の有無

農外就労をしていない者に、今後もしないつもりかどうかをたずねたところ、"しないつもり"と答

第 42 表 今後の就労意志の有無

|         |         |  | 総 数   |      | しないつもり | したいができない | したい  | わからない | 不 明 |
|---------|---------|--|-------|------|--------|----------|------|-------|-----|
|         |         |  | 実 数   | %    |        |          |      |       |     |
| 計       |         |  | 1,010 | 100% | 69.7   | 18.1     | 7.9  | 4.1   | 0.2 |
| 経 済 地 帯 | 都 市 近 郊 |  | 159   | 100  | 74.2   | 17.0     | 5.7  | 3.1   | —   |
|         | 平 地 農 村 |  | 395   | 100  | 73.7   | 13.9     | 7.3  | 4.8   | 0.3 |
|         | 農 山 村   |  | 319   | 100  | 65.5   | 21.6     | 8.5  | 4.1   | 0.3 |
|         | 山 村     |  | 137   | 100  | 62.8   | 23.4     | 10.9 | 2.9   | —   |
| 年 令     | 20 代    |  | 30    | 100  | 40.0   | 30.0     | 16.7 | 13.3  | —   |
|         | 30 代    |  | 194   | 100  | 47.5   | 27.8     | 17.0 | 7.7   | —   |
|         | 40 代    |  | 333   | 100  | 67.6   | 21.3     | 7.8  | 3.0   | 0.3 |
|         | 50 代    |  | 451   | 100  | 83.0   | 10.9     | 3.5  | 2.4   | 0.2 |

えた者が7割で、あとは"したいができない"が18%,"したい"が8%,"わからない"が4%である。

"したい"または"したいができない"と、一応就労意志のあることを示した者は、若い年代ほど多く、20代では5割に近い。

経済地帯別には山村及び農山村に就労を希望する者が多い(34%と30%)。

## 4 希望する農外就労形態

"農外就労をしたい"または"したいができない"と答えた者に対して、「どんな仕事をしたいと思うか」とたずねたところ、最も多く出されたのは内職の53%であった。次いで臨時的勤務の38%、恒常的勤務の7%、農業賃労働の6%、自営業3の順になっており、出稼ぎを希望するものは1人もいなかった。恒常的勤務、臨時的勤務をあげたもののうち、とくにパートタイム就労の希望がそれぞれ約4割みられた。

農家婦人の農外就労に関する調査対象地点一覧表

| 地域  | 区分<br>県名 | 調査対象市町村名                                       | 地点数 |
|-----|----------|------------------------------------------------|-----|
| 東 北 | 青 森      | 1 南津軽郡田舎館村(光田寺村)                               | 1   |
|     | 岩 手      | 2 江刺市(米里村) 3 岩手郡西根町(大更村)<br>4 久慈市(宇部村)         | 3   |
|     | 宮 城      | 5 仙台市(生田村) 6 亶理郡山元町(山下村)<br>7 玉造郡岩出山町(一栗村)     | 3   |
|     | 秋 田      | 8 大館市(下川沿村) 9 平鹿郡大雄村(阿気村)<br>10 雄勝郡羽後町(田代村)    | 3   |
|     | 山 形      | 11 米沢市(三沢村) 12 最上郡真室川町(安楽城村)                   | 2   |
|     | 福 島      | 13 郡山市(富久山町) 14 西白河郡表郷村(金山村)                   | 2   |
| 関 東 | 茨 城      | 15 下館市(伊讃村) 16 鹿島郡大野村(大同村)<br>17 結城郡石下町(飯沼村)   | 3   |
|     | 栃 木      | 18 小山市(豊田村) 19 安蘇郡田沼町(田沼町)<br>20 那須郡那須町(伊王野村)  | 3   |
|     | 群 馬      | 21 太田市(太田市) 22 新田郡薮塚本町<br>23 利根郡片品村            | 3   |
|     | 埼 玉      | 24 入間郡坂戸町(大森村) 25 大里郡妻沼町(太田村)                  | 1   |
|     | 千 葉      | 26 柏市(柏町) 27 印旛郡八街町(八街町)<br>28 夷隅郡夷隅町(千町村)     | 3   |
|     | 神奈川      | 29 足柄上郡南足柄(南足柄町)                               | 1   |
| 中 部 | 新 潟      | 30 北浦原郡豊栄町(葛塚町) 31 栃尾市(栃尾町)<br>32 東頸城郡安塚町(小黒村) | 3   |
|     | 富 山      | 33 高岡市(国吉村) 34 東砺波郡井波町(山野村)<br>35 婦負郡細入村       | 3   |
|     | 石 川      | 36 石川郡美川町(湊村)                                  | 1   |
|     | 福 井      | 37 坂井郡坂井町(東十郷村) 38 小浜市(松永村)                    | 2   |

| 地域  | 区分<br>県名 | 調査対象市町村名                                                        | 地点数 |
|-----|----------|-----------------------------------------------------------------|-----|
| 中 部 | 山 梨      | 39 北巨摩郡須玉町(増富村) 40 北巨摩郡武川村(武川村)                                 | 2   |
|     | 長 野      | 41 松本市(新村) 42 上高井郡小布施町(都住村)<br>43 北佐久郡浅科村(南御牧村) 44 上高井郡高山村(山田村) | 4   |
|     | 岐 阜      | 45 加茂郡八白津町(錦津村) 46 益田郡小坂町                                       | 2   |
|     | 静 岡      | 47 浜松市(篠原村) 48 小笠郡大浜町(陸浜村)<br>49 清水市(鹿原村) 50 引佐郡引佐町(井伊谷村)       | 4   |
|     | 愛 知      | 51 知多郡東浦町 52 安城市(安城町)<br>53 東加茂郡下山村                             | 3   |
|     | 三 重      | 54 鈴鹿市(天名村) 55 三重郡菟野町(鶴川原村)<br>56 三重郡朝日町                        | 3   |
| 近 畿 | 滋 賀      | 57 甲賀郡甲西町(岩根村) 58 伊香郡高月町(南富永村)<br>59 甲賀郡甲南町                     | 3   |
|     | 京 都      | 60 中郡大宮町(河辺村)                                                   | 1   |
|     | 兵 庫      | 61 伊丹市(長尾村) 62 城崎郡日高町(三方村)                                      | 2   |
|     | 奈 良      | 63 橿原市(耳成村) 64 吉野郡黒滝村                                           | 2   |
|     | 和歌山      | 65 有田市(保田村) 66 橋本市(紀見村)                                         | 2   |
| 中 国 | 鳥 取      | 67 東伯郡北条町(中北条村)                                                 | 1   |
|     | 島 根      | 68 平田市(北浜村) 69 飯石郡赤来町(赤名町)                                      | 2   |
|     | 岡 山      | 70 和気郡備前町(香登町) 71 赤磐郡瀬戸町(万富村)<br>72 吉備郡昭和町(下倉村)                 | 3   |
|     | 広 島      | 73 佐伯郡廿日市町(宮内村) 74 加茂郡黒瀬町(中黒瀬村)<br>75 山県郡千代田町(八重町)              | 3   |
|     | 山 口      | 76 都濃郡南陽町(和田村) 77 大津郡油谷町(向津具村)                                  | 2   |
| 四 国 | 徳 島      | 78 海辺郡由岐町(三岐田町)                                                 | 1   |
|     | 香 川      | 79 丸亀市(川西村) 80 大川郡大川町(富田村)                                      | 2   |

| 地 域    | 区分  | 調 査 対 象 市 町 村 名                                          | 地点数 |
|--------|-----|----------------------------------------------------------|-----|
|        | 県名  |                                                          |     |
| 四 国    | 愛 媛 | 81 温泉郡久谷村（坂本村）<br>82 越智郡宮窪町（宮窪村）<br>83 東宇和郡城川町（土居村）      | 3   |
|        | 高 知 | 84 中村市（東山村）                                              | 1   |
| 九 州    | 福 岡 | 85 久留米市（久留米市）<br>86 甘木市（三奈木村）<br>87 山門郡三橋町               | 3   |
|        | 佐 賀 | 88 伊万里市（松浦村）                                             | 1   |
|        | 長 崎 | 89 北高来郡高来町（深海村）<br>90 平戸市平戸町<br>91 西彼杵郡大島町               | 3   |
|        | 熊 本 | 92 鹿本郡鹿本町（稲田村）<br>93 天草郡五和町（城河原村）                        | 2   |
|        | 大 分 | 94 宇佐市（宇佐町）<br>95 大野郡三重町（菅尾村）                            | 2   |
|        | 宮 崎 | 96 都城市（都城市）                                              | 1   |
|        | 鹿児島 | 97 指宿郡開聞町<br>98 大口市（大口町）<br>99 薩摩郡薩摩町（永野村）<br>100 大島郡笠利町 | 4   |
| 43 県 計 |     |                                                          | 100 |

（注）（ ）内の市町村は本調査対象地点であって、市町村合併以前の市町村名である。

# 農家婦人の農外就労に関する調査

昭和44年2月10日印刷

昭和44年2月28日発行

発行者 労働省婦人少年局

東京都千代田区大手町1-7

印刷者 中和印刷株式会社

東京都中央区入船町2-3